

Ⅶ 研究成果（成果普及関係業務を含む）の状況

1 主要研究成果

(1) 普及に移す技術

試験研究機関において得られた成果について、農業分野における普及に移す技術等取扱要領に基づき、積極的に推奨しようとする新しい技術及び品種・種畜を普及技術、普及、行政及び研究推進上参考となる事項を指導活用技術（第94号までは「参考資料」）、新規農業資材の使用法や特性、新品種の特性等、適宜情報提供する事項を普及情報とし、以下のとおり取りまとめて農政部長に提出し、各関係機関に配布した。なお、普及技術の開発件数は、令和2年度が5件、令和元年度が7件、平成30年度が4件であった。

【令和2年度（普及に移す技術「第96号」）】

| 区分 | 分類名 | 課 題 名 |
|----------------------------|---------------------|--|
| 普及技術 (5件) | 野 菜 | トマト葉面積指数 (LAI) の簡易推定法 |
| | | 日射量に基づいたトマトの収量シミュレーション |
| | | 高品質で収量性に優れるセリ新品種「Re14-4」 |
| | 果 樹 | 省力技術によるリンゴジョイントV字樹形の作業時間削減 |
| 経 営 | 水田を活用した露地園芸品目導入の手引き | |
| 指導活用技術 (12件) | 野 菜 | イチゴ「ここにこベリー」の摘果による大玉率と糖度の向上 |
| | | ドローン空撮によるネギほ場の生育・収量マップ作成手法 |
| | 果 樹 | 発育速度モデルを活用したリンゴ開花期予測シート |
| | 花 き | 赤色LED ランプを用いた露地電照栽培に適する夏秋ギク品種(8月盆出荷作型) |
| | | 赤色LED ランプを用いた露地電照栽培に適する夏秋ギク品種(9月彼岸出荷作型) |
| | 土壌肥料 | ドローン空撮によるネギほ場の土壌表層水分マップ作成手法 |
| | 病 害 虫 | キュウリの中位葉及び下位葉重点防除による地上部病害の抑制 |
| | | イチゴ・トマト灰色かび病のメパニピリムに対する感受性 |
| | | 春作キャベツにおける二次植物導入による害虫抑制効果 |
| | | 促成イチゴにおける UV-B 電球形蛍光灯と反射資材の併用によるハダニ類抑制効果(追補) |
| | | オンシツコナジラミに対する殺虫剤5種の卵期処理による防除効果(追補) |
| イムノクロマト試験紙を利用したセリ感染ウイルスの診断 | | |
| 普及情報 | | イチゴ養液栽培における針葉樹皮培地の適応性 |

| | | |
|------|-----|--|
| (6件) | 野菜 | イチゴ促成栽培における散乱光被覆資材の効果 |
| | | 汎用管理機用根切機によるハウレンソウ収穫作業効率の改善 |
| | 病虫害 | 大麦間作によるモンシロチョウ抑制効果の要因 |
| | | イチゴのハダニ類に対するアシノナビル水和剤の防除効果 コナガ, アオムシに対するブロフラニリド水和剤の防除効果 |

【令和元年度（普及に移す技術「第95号」）】

| 区分 | 分類名 | 課題名 |
|--|------------|---|
| 普及技術 (7件) | 野菜 | 施設内環境制御における基本設定のグラフ化 |
| | | 「週間環境データ自動計算シート」のバージョンアップ |
| | | 水稻育苗箱を用いた小ネギ2作+ハウレンソウの簡易養液栽培 |
| | | セット栽培によるタマネギ初冬どり生産技術 |
| | 果樹 | リンゴ側枝下垂型ジョイント樹形用苗木の育成技術 |
| | 経営 作業技術 | 宮城県版第三者認証 GAP 導入ガイドの活用 草勢の異なるパプリカにおける最適な栽植密度 |
| 指導活用技術 (10件) | 果樹 | リンゴ「サワールージュ」における1-MCP処理後の貯蔵果実に対する加工適性評価 |
| | 花き | 3月出し輪ギクのEOD-Heatingを用いた多段階変夜温管理による重油消費量削減 |
| | 土壌肥料 | 硝酸イオンメーターを用いた土壌中硝酸態窒素の簡易分析法 |
| | 病虫害 | イライザ法による植物ウイルス由来二本鎖RNAの検出 |
| | | オンシツコナジラミに対する殺虫剤6種の卵期処理による防除効果 |
| | | ナシ品種「あきづき」のナシ黒星病耐病性 |
| | | 春まきタマネギのネギアザミウマに対して新たに確認した土着天敵 |
| | | 露地園芸で利用可能な天敵誘引植物 |
| | 経営 | 水田経営体が加工用ばれいしょ導入を検討するための試算シート |
| タマネギ(春まき, 晩秋まき, 秋まき)導入を検討するための「担い手経営体モデル試算シート」 | | |
| 普及情報 (2件) | 土壌肥料 | 秋冬ネギ栽培における混合堆肥複合肥料(商品名:エコレット055)の施用効果 |
| | 病虫害 | ハダニ類, アザミウマ類に対するフルキサメタミド乳剤の防除効果 |

【平成30年度（普及に移す技術「第94号」）】

| 区分 | 分類名 | 課題名 |
|---------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 普及技術 (4件) | 野菜 | タマネギ「晩秋まき栽培」による6~7月連続収穫 |
| | | ルテイン含有量が安定して多いホウレンソウを生産する技術 |
| | 病虫害 | 大麦リピングマルチを利用したキャベツのIPM体系（追補） |
| | 経営 | 6次産業化の検討に向けたチェックリスト |
| 参考資料 (13件) | 野菜 | ズッキーニ春作の安定生産技術 |
| | 果樹 | 1-MCP処理によるリンゴ「サワールージュ」の鮮度保持 |
| | 花き | 露地電照栽培による需要期安定出荷が可能な夏秋小ギク品種 |
| | 土壌肥料 | 畑土壌可給態窒素の簡易・迅速評価法 |
| | 病虫害 | ろ紙粉末を利用した植物ウイルス由来二本鎖RNAの検出 |
| | | 落葉処理によるナシ黒星病被害軽減効果 |
| | | トマトうどんこ病に対する気門封鎖型薬剤の防除効果 |
| | | イチゴ品種「にこにこベリー」の各種病害に対する耐病性比較 |
| | | 促成イチゴにおけるUVB電球形蛍光灯と反射資材の併用によるハダニ類抑制効果 |
| | | リンゴのナミハダニに対する殺ダニ剤の効果 |
| | | 経営 |
| | 第三者認証GAPにおける団体・グループ認証の体制とメリット | |
| | I PM技術として天敵利用が地域的に進む先進地事例 | |
| 普及情報 (10件) | 果樹 | ブルーベリーの有望品種 |
| | | 有望なブドウ品種の果実特性 |
| | | 有望なリンゴ早生品種の果実特性 |
| | | 有望な生食用イチジク品種の栽培特性 |
| | | ニホンナシ新品種「なるみ」の果実特性 |
| | | モモ黄肉品種「つきあかり」の果実特性 |
| | 病虫害 | カキ炭疽病の枝病斑から飛散する分生胞子の飛散消長 |
| | | ハダニ類の天敵である土着カブリダニの県内果樹園地での生息状況 |
| | | 促成イチゴで発生するハダニ類の土着天敵 |
| | | フロメトキン水和剤のミカンキイロアザミウマに対する防除効果 |

(2) 第8次農業試験研究推進構想における主要な研究成果について

平成29年度まで取り組んだ「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」(先端プロ)の実証研究において実用化された研究成果について、所内にオープンラボ(情報発信拠点)を設置し、研究成果に関するパネルや模型等の常設展示、ホームページ等での情報発信を行った。また、研究成果から選定した7つの成果技術について、展示場の設置、現地研修会の開催、普及組織や関係機関と連携した技術指導等を行い、成果技術の普及促進を図った。

その結果、令和2年度における普及面積は、「イチゴクラウン温度制御」及び「ブドウ「シャインマスカット」の栽培技術」以外は目標値を上回った。また、「イチゴクラウン温度制御」についても、現地検討会の開催などにより、その有効性に対する関心は高まっており、今後の導入が期待される。

| No. | 技術名 | 技術内容 | 県内普及面積 ※ ()内は目標値 | | | 内訳等 |
|-----|-----------------------------------|--|------------------------|-------------------------|--------------------------|--|
| | | | H30 | R1 | R2 | |
| 1 | 大区画圃場における プラウ耕耘田直播 | ・耕起にはプラウの一種であるスタブルカルチを用い、播種には、グレーン ドリルを用いる。播種床造成はケンブリッジローラによる鎮圧作業で高能 率に行う。播種後の鎮圧は苗立ちの安定化と漏水防止効果がある。 | 683ha (600ha) | 800ha (800ha) | 1,100ha (1,000ha) | 石巻市・東松島市 746ha, 登米市 180ha, 名取市・岩沼市 80ha, 栗原市 39ha, 仙台市 37ha ほか |
| 2 | 既存施設を活用した 水稻移植栽培の低コ スト化技術体系 | ・乳苗等高密度播種苗と疎植栽培を組み合わせた水稻移植栽培 | 450ha (430ha) | 500ha (470ha) | 600ha (500ha) | 仙台湾沿岸・県北部を中心に全県 的に取り組まれている。 |
| 3 | キャベツ等露地野菜 の安定生産技術 | ・長期育苗技術により、キャベツ等露地野菜の生育を斉一化し、機械化技術 を導入することで、各種作業の省力化を図る。また、リビングマルチによ る害虫抑制技術や露地野菜導入のシミュレーションシートを活用しなが ら、キャベツ等露地野菜の安定生産を図る。 | 12ha (5ha) | 11.3ha (12ha) | 17.6ha (15ha) | ・キャベツ長期無追肥育苗、機械 化体系の導入：岩沼市、登米市、 大河原町、村田町約 17ha ・リビングマルチ：登米市 0.6ha |
| 4 | 水稻育苗ハウスの有 効利用技術 | ・ミニトマトの簡易養液栽培：土地利用型経営体の水稻育苗後に、ハウス内 土壌を使用しない移動式の簡易養液栽培槽を利用して、収益性の高い園芸 作物のミニトマトを栽培することにより、水稻育苗ハウスを有効利用する。 ・暑熱軽減対策：夏季のハウス内で、細霧冷房(状況により遮光を併用)で 気温を下げ、空調服、機能性シャツ、ネッククーラー、移動式小型ファン を組み合わせることで、上半身の表面温度上昇を抑え、作業者の 暑さが軽減できる。 | 3 経営体 (2 経営体) | 12 経営体 (5 経営体) | 18 経営体 (10 経営体) | ・簡易養液栽培：2 経営体 ・細霧冷房：1 経営体 ・空調服：15 経営体 |
| 5 | イチゴクラウン温度 制御 | ・クラウン(株元)に沿わせたチューブに冷水や温水を流し、直接冷却また は加温を行い、クラウン部を20°C前後に維持する。定植から10月上旬の 冷却処理は、第1次腋花房の分化を促進し、11月から2月の加温処理は、 草高の維持や展葉の促進、3月以降の冷却処理は、果実の肥大を促進する。 | 1.0ha (1.0ha) | 1.45ha (2.0ha) | 2.0ha (4.0ha) | ・クラウン冷却技術：亙理町・山 元町 |
| 6 | イチゴにおける総合 的病害虫管理(IPM) | ・定植苗の高濃度炭酸ガス処理による微小害虫防除、UV-B照射によるうどん こ病防除、天敵製剤によるハダニ類防除等を活用することで、イチゴの施 設栽培における化学合成農薬の使用を低減させ、総合的病害虫管理技術の 導入・拡大を図る。 | 15ha (13ha) | 50ha (16ha) | 52ha (20ha) | ・UV-B ランプ：約 40ha ・高濃度炭酸ガス処理：約 12ha |
| 7 | ブドウ「シャインマ スカット」の栽培技 術 | ・果実品質に影響しない省力化技術(花穂整形器の利用、1新梢2房利用、 副穂・支梗の利用、果粒軟化期以降の新梢管理の省略)の組合せにより、 作業時間を短縮し、収益性の向上を図る。 | 3.0ha (3.5ha) | 3.9ha (4.2ha) | 4.2ha (5.0ha) | 仙台市、石巻市、富谷市、大郷町、 亙理町、山元町 ほか |

(3) 成果の報告

当該年度の試験研究成果の速やかな活用を促進するため、普及センターや農業協同組合等の農業指導者などを対象とした各研修会において成果を報告した。令和2年度は9回（合計出席者数：477名）、令和元年度は4回（同299名）、平成30年度は11回（同693名）の研修会を開催した。

【令和2年度】

| 開催日 | 研修名 | 受講者数 | 場所 |
|----------|--|------|------------------------------|
| 6月23日(火) | 第1回「にこにこベリー」栽培研修会 | 60人 | 農業・園芸総合研究所 6階講堂 |
| 7月30日(木) | 食料生産地域再生のための先端技術展開事業（社会実装促進業務委託事業） 「暑熱軽減対策技術」研修会 | 23人 | 石巻合同庁舎 （株）パスカファーム立沼 |
| 9月1日(火) | 亘理地域シャインマスカット栽培技術研修会（社会実装促進事業関連） | 38人 | 農業・園芸総合研究所 6階講堂 |
| 10月6日(火) | 第2回「にこにこベリー」栽培研修会 | 37人 | 農業・園芸総合研究所 6階講堂 |
| 10月9日(金) | 第2回「にこにこベリー」栽培研修会 JAみやぎ亘理版 | 64人 | JAみやぎ亘理亘理・山元いちご選果場会議室 |
| 12月1日(火) | 食料生産地域再生のための先端技術展開事業（社会実装促進業務委託事業） 「プラウ耕乾田直播・水稲低コスト栽培技術」研修会 | 71人 | 登米合同庁舎 5階501会議室 |
| 2月5日(金) | 食料生産地域再生のための先端技術展開事業（社会実装促進業務委託事業） イチゴ栽培研修会 | 92人 | 農業・園芸総合研究所 6階講堂 （オンライン配信） |
| 2月10日(水) | 食料生産地域再生のための先端技術展開事業（社会実装促進業務委託事業） 「シャインマスカット栽培技術」研修会 | 61人 | 農業・園芸総合研究所 果樹ほ場 |
| 2月24日(水) | 宮城県農業普及・試験研究連携活動研究会 | 31人 | 宮城県自治会館 |
| 計 | 9回 | 477人 | |

【令和元年度】

| 開催日 | 研修名 | 受講者数 | 開催場所 |
|----------|--|------|--|
| 9月6日(金) | 水稲育苗ハウスの有効利用研修会～暑熱軽減対策～ （社会実装促進事業関連） | 22人 | 東松島市コミュニティーセンター及び株式会社パスカファーム立沼現地ほ場（東松島市） |
| 9月20日(金) | ブドウ「シャインマスカット」栽培研修会（社会実装促進事業関連） | 44人 | 農業・園芸総合研究所 果樹ほ場 |
| 2月7日(金) | イチゴ栽培研修会「クラウン温度制御とIPM防除体系、春先の栽培管理」 （社会実装促進事業関連） | 88人 | 亘理町現地ほ場、JAみやぎ亘理いちご選果場 |
| 2月13日(木) | 宮城県農業普及・試験研究連携活動研究会 | 145人 | 宮城県自治会館 |
| 計 | 4回 | 299人 | |

【平成30年度】

| 開催日 | 研修名 | 受講者数 | 開催場所 |
|-----------|---|------|-----------------------------------|
| 6月14日(木) | 「春タマネギ等省力化・多収・安定化技術」現地研修会 | 62人 | 農業・園芸総合研究所及び大河原町現地ほ場 |
| 7月20日(金) | イチゴ担当者向けセミナー | 31人 | 農業・園芸総合研究所 |
| 7月28日(土) | 小果樹(レッドカーランツ)を用いた新規加工品の市場性評価に係るすぐり研修会(社会実装促進事業関連) | 18人 | 仙台市 |
| 9月4日(火) | 「水稻育苗ハウスの有効利用技術」現地研修会(社会実装促進事業関連) | 42人 | 株式会社パスカファーム立沼(東松島市) 農業・園芸総合研究所 |
| 10月3日(水) | プラウ耕・グレーンドリル播種乾田直播, 収量計測コンバインと可変施肥講習会(社会実装促進事業関連) | 44人 | 名取市 (有) 耕谷アグリサービス |
| 10月12日(金) | ブドウ「シャインマスカット」現地研修会(社会実装促進事業関連) | 69人 | 亘理町 |
| 11月6日(火) | 野菜生産振興研修会～キャベツ等の安定生産と販売に向けて～ | 89人 | 岩沼市 |
| 11月14日(水) | 乳苗育苗, スタブルカルチ, GNSS ガイダンス講習会(社会実装促進事業関連) | 63人 | 名取市 (有) 耕谷アグリサービス |
| 11月27日(火) | 「イチゴ局所温度管理及びイチゴIPM防除体系の確立」成果伝達会(社会実装促進事業関連) | 100人 | 農業・園芸総合研究所 |
| 2月6日(水) | イチゴ担当者向けセミナー | 31人 | 農業・園芸総合研究所 |
| 2月22日(金) | 宮城県農業普及・試験研究連携活動研究会 | 144人 | 宮城県庁 |
| 計 | 11回 | 693人 | |

(4) 東北農業研究成果情報採用課題

東北農業試験研究推進会議で検討され、研究成果としてオリジナリティを有し普及・行政・試験研究から有用性が高く評価される情報、東北地域に広く適用可能な情報と認められた成果については、「東北農業研究成果情報」に採用される。平成30年度は9課題、令和元年度は2課題、令和2年度は3課題が採用された。

令和2年度 「東北農業研究成果情報」採用課題

| 部門 | 課題名 |
|------|--|
| 野菜花き | 1 施設内環境測定値活用のための「週間環境データ自動計算シート」 2 施設内環境制御における基本設定のグラフ化 3 高温開花性を有する夏秋小ギク品種 |

令和元年度 「東北農業研究成果情報」 採用課題

| 部門 | 課題名 |
|------|---|
| 野菜花き | 1 3月出し輪ギクのEOD-heatingを用いた多段階変夜温管理による重油消費量削減 |
| | 2 小ギクにおけるキク矮化ウイルス抵抗性品種の選抜と混植試験による抵抗性評価 |

平成30年度 「東北農業研究成果情報」 採用課題

| 部門 | 課題名 |
|------|--|
| 生産環境 | 1 アダプター付加による t-RFLP 法の開発と検出可能な機器類の拡大 |
| | 2 キュウリにおける CMV-WMV 混合弱毒株接種によるモザイク病の抑制 |
| | 3 キャベツ秋冬作におけるリビングマルチと微生物製剤の併用による害虫抑制効果 |
| 野菜花き | 1 イチゴ四季成り性品種育種過程における DNA マーカーの活用 |
| | 2 パプリカにおける受光量と物質生産の関係を利用した生育シミュレーション |
| | 3 札幌市と仙台市でのイチゴの消費動向及び新品種「ここにこベリー」の評価 |
| | 4 簡易養液栽培槽を用いた四季成り性イチゴ夏秋どり栽培での反射資材展張による増収技術 |
| | 5 宮城県の夏秋期における露地小ギクの電照栽培 |
| 果樹 | 1 リンゴ側枝下垂型ジョイント樹形用の育苗方法の開発 |

(5) 研究報告, 学会誌, 商業誌等発表

試験研究によって得られた新しい知見については、「東北農業研究」等に論文等として発表した。

| | 研究報告 | 学会誌等発表 | 商業誌等発表 | 合計 |
|--------|------|--------|--------|-----|
| 令和2年度 | 3件 | 23件 | 10件 | 36件 |
| 令和元年度 | | 41件 | 12件 | 53件 |
| 平成30年度 | 1件 | 31件 | 20件 | 52件 |

【令和2年度】

| No | 発表課題名 | 研究者名 | 発表誌・巻・号・年月 |
|----|------------------------------|--|------------------------|
| 1 | 促成栽培用イチゴ新品種「ここにこベリー」の育成と栽培特性 | 高山詩織, 近藤誠, 鹿野弘, 今野誠, 高野岩雄, 小野寺康子, 柴田昌人, 尾形和磨 | 宮城県農業・園芸総合研究所研究報告 第88号 |
| 2 | 宮城県のイチゴ超促成栽培におけるクラウン温度制御の効果 | 高山詩織, 後藤直子, 岩崎泰永, 菅野亘, 高野 | 宮城県農業・園芸総合研究所研究報告 第88号 |

| | | | |
|----|---|-------------------------------------|-----------------------------|
| | | 岩雄, 鹿野弘 | 号 |
| 3 | 寒冷地のスプレーギク冬季栽培におけるEOD-heating処理と多段階変夜温管理を組み合わせた温度制御による燃油消費量削減 | 足立陽子, 佐々木厚, 津田花愛, 道園美弦 | 宮城県農業・園芸総合研究所研究報告 第88号 |
| 4 | 抗体を利用した農作物からの植物ウイルス由来二本鎖RNAの検出 | 千葉直樹, 板橋 建, 大坂正明 | ニューフードインダストリー |
| 5 | 宮城県におけるリンゴのナミハダニに対する殺ダニ剤の効果と園地および周辺環境 | 関根崇行, 伊藤博祐, 柴田昌人, 駒形泰之 | 北日本病害虫研究会報 第71号 (報文) |
| 6 | 野草及び雑草からのキュウリモザイクウイルスの獲得 | 板橋 建, 大坂正明, 千葉直樹, 中村茂雄 | 北日本病害虫研究会報 第71号 (講演要旨) |
| 7 | 宮城県におけるハクサイ根こぶ病の病原型と抵抗性遺伝子に基づいた品種選定 | 大坂正明, 板橋 建, 千葉直樹, 加治 誠, 勝又雅彦, 藤本 龍 | 北日本病害虫研究会報 第71号 (報文) |
| 8 | 宮城県におけるナシ黒星病菌のDMI剤に対する感受性 | 大場淳司, 木村智志, 近藤 誠 | 北日本病害虫研究会報 第71号 (講演要旨) |
| 9 | 宮城県におけるオンシツコナジラミの薬剤感受性検定 | 駒形泰之, 大江高穂, 関根崇行 | 北日本病害虫研究会報 第71号 (講演要旨) |
| 10 | ボーベリアバシアーナ乳剤によるトマトうどんこ病およびオンシツコナジラミの同時防除 | 近藤 誠 | 北日本病害虫研究会報 第71号 (講演要旨) |
| 11 | ドローン搭載マルチスペクトルカメラを用いた畑土壌表層水分マップ作成 | 瀧 典明, 中村佳与 | 日本土壌肥料学会2020年度岡山大会 (講演要旨) |
| 12 | セリの消費行動と消費者ニーズ | 石川志保, 本多めぐみ | 第63回東北農業試験研究発表会 (講演概要) |
| 13 | 秋冬ネギ栽培における混合堆肥複合肥料を用いた追肥回数削減 | 瀧 典明, 中村佳与, 永田悦祈, 日野義彦 | 第63回東北農業試験研究発表会 (講演概要) |
| 14 | 水稻育苗箱を用いた簡易養液栽培における小ネギ2作後のホウレンソウ播種適期の検討 | 高橋勇人, 澤里昭寿, 大森裕俊, 鹿野 弘 | 第63回東北農業試験研究発表会 (講演概要) |
| 15 | 秋冬ネギ栽培における混合堆肥複合肥料を用いた追肥回数削減 | 瀧 典明, 中村佳与, 永田悦祈, 日野義彦 | 東北農業研究 第73号 |
| 16 | 水稻育苗箱を用いた簡易養液栽培における小ネギ2作後のホウレンソウ播種適期の検討 | 高橋勇人, 澤里昭寿, 大森裕俊, 鹿野 弘 | 東北農業研究 第73号 |
| 17 | セリの消費行動と消費者ニーズ | 石川志保, 本多めぐみ | 東北農業研究 第73号 |
| 18 | ニホンナシ品種「あきづき」の黒星病に対する耐病性 | 大場淳司 | 令和2年度日本植物病理学会東北部会 (講演要旨予稿集) |
| 19 | 秋冬ネギ栽培における食品廃棄物系メタン発酵消化液の活用 | 瀧 典明, 中村佳与, 永田悦祈 | 2020年度日本土壌肥料学会東北支部大会宮城大会 |
| 20 | リンゴ園において繁茂した下草は殺虫剤による地表徘徊性クモ類の個体数減少を緩和する | 駒形泰之, 大江高穂, 関根崇行 | 第65回日本応用動物昆虫学会 (講演要旨) |
| 21 | 異なる加速度の振動がトマトのオンシツコナジラミ寄生密度と収量に及ぼす影響 | 大江高穂, 関根崇行, 駒形泰之, 小野寺隆一, 阿部翔太, 高梨琢磨 | 第65回日本応用動物昆虫学会 (講演要旨) |

| | | | |
|----|--|--|---|
| 22 | 寒冷地における輪ギク3月出荷栽培における生育ステージ別EOD-heating処理と多段階変夜温管理を組み合わせた温度制御による燃油消費量削減 | 足立陽子, 佐々木厚, 道園美弦 | 令和3年度園芸学会春季大会 (ポスター発表) |
| 23 | Pradaion of syrphid larvae on thrips in onion fields intercropped with barley (日本語訳: 大麦を間作したタマネギ圃場におけるヒラタアブ類幼虫のアザミウマ類捕食について, 捕食シーンを撮影した動画を投稿) | Takayuki Sekine, Masaaki Osaka, Takeru Itabashi, Naoki Chiba, Hideto Yoshimura, Ryuji Uesugi, Ken Tabuchi, Takeshi Shimoda | Journal of Asia-Pacific Entomology誌 (動画投稿) |
| 24 | Root formation symptom caused by chrysanthemum stunt viroid in Chrysanthemum morifolium and C. seticuspe (日本語訳: 栽培ギクとキクタニギクにおけるキク矮化ウィロイド感染で生じる根の形成不良について) | 松下陽介, 大坂正明, 板橋 建, 千葉直樹, 住友克彦 | ヨーロッパ・ジャーナル・オブ・プラント・パソロジー誌 |
| 25 | Breeding for disease resistance in Brassica vegetables using DNA marker selection (日本語訳: DNAマーカー選抜を用いたアブラナ科野菜における病害抵抗性育種) | 神戸大学大学院農学研究科 Hasan Mehraj, 藤本龍, Mst.Arjina Akter, Hasan Mehraj, Takeru Itabashi, Tomoe Shindo, Masaaki Osaka, Aya sha Akrer, Naomi Miyaji, Naoki Chiba, Junji Miyazaki, Ryo Fujimoto | IntechOpen Book chapter インテックオープン誌ブックチャプター原稿 |
| 26 | Suppressoin effects of leafy daikon (Raphanus sativus var. longipinnatus) undersowing on insect pests in a cabbage (Brassica oleracea var. capitata) field (日本語訳: キャベツ栽培における葉大根の間作による数種害虫の密度抑制効果) | Takayuki Sekine, Kenji Kanao, Syota Inawashi, Masatoshi Hori | 国際誌 Arthropod-plant Interactions |
| 27 | 効果的なIPM実践のポイントー体系的な防除方法と気門封鎖剤の利用ー | 関根 崇行 | 日本農業新聞 (9/15) |
| 28 | 新品種続々誕生「Re14-4」品種紹介 | 高橋 勇人 | イカロス出版社『農業ビジネス ベジ』Vol. 31 2020秋号 |
| 29 | 環境データ自動計算シートを作成 (環境データをパットグラフ) | 神崎 正明 | 『現代農業』2020年12月号 |
| 30 | キク類のEOD-heatingと多段階変夜温管理を組み合わせた温度管理による燃油消費量削減 | 足立 陽子 | 日本農民新聞社『施設と園芸』191 (2020年秋)号「ミニ情報」 |
| 31 | 環境・生育データの共有と栽培管理支援ツールによる生産性向上 | 神崎 正明 | 日本農民新聞社『施設と園芸』191 (2020年秋)号 |
| 32 | 特集 イチゴ生産の新技术と動向 仮題: 東日本大震災後に大型化・団地化が実現した宮城県のイチゴ生産 | 高山 詩織 | 日本農民新聞社『施設と園芸』192 (2021年春)号 |

| | | | |
|----|--|-------|----------------------------|
| 33 | オオムギ間作による害虫密度抑制効果とIPMへの導入 | 関根 崇行 | 『植物防疫みやぎ』131号技術シリーズ |
| 34 | オオムギ間作による害虫密度抑制効果とIPMへの導入 | 関根 崇行 | 月刊『植物防疫』第74巻第12号(2020年) |
| 35 | 宮城県におけるリンゴ園のナミハダニに対する殺ダニ剤の効果と薬剤使用履歴および圃地周辺環境が感受性低下に及ぼす影響 | 関根 崇行 | 月刊『植物防疫』第75巻第7号(2021年) |
| 36 | タマネギ「晩秋まき栽培」による6～7月連続収穫～作型の組み合わせで労力と機械を効率利用～ | 澤里 昭寿 | グリーンレポートNO.619 (令和3年1月1日号) |

【令和元年度】

| No | 発表課題名 | 研究者名 | 発表誌・巻・号・年月 |
|----|---|----------------------------------|-------------------------------|
| 1 | 施設抑制栽培キュウリにおける中位葉および下位葉重点防除による地上部病害の抑制 | 大場淳司・木村智志・近藤誠・関根崇行 | 北日本病害虫研究会報 第70号 (講演要旨) |
| 2 | バンカー法における2種アブラバチの寄主選好性について | 鈴木香深・光永貴之・長坂幸吉 | 北日本病害虫研究会報 第70号 (講演要旨) |
| 3 | 水耕栽培装置を用いた抵抗性誘導に特徴的な代謝産物解析のための抵抗性誘導剤の根域施用法 | 板橋建・大坂正明・千葉直樹・澤田有司 | 北日本病害虫研究会報 第70号 (講演要旨) |
| 4 | キャベツ秋冬作型におけるオオムギリビングマルチと微生物製剤の併用による害虫抑制効果 | 大坂正明・板橋建・千葉直樹・関根崇行・中村茂雄 | 北日本病害虫研究会報 第70号 (講演要旨) |
| 5 | イチゴ新品種「にこにこベリー」のうどんこ病、萎黄病、炭疽病の発生程度 | 近藤誠・高山詩織・鹿野弘・関根崇行 | 北日本病害虫研究会報 第70号 (講演要旨) |
| 6 | 宮城県の夏秋トマト栽培における改良型赤色防虫ネット・天敵タバコカスミカメ・天敵温存植物バーベナを組み合わせたIPM技術の有効性 | 駒形泰之・猪苗代翔太・関根崇行・鈴木香深 | 北日本病害虫研究会報 第70号 (講演要旨) |
| 7 | 宮城県におけるイチゴ炭疽病菌の菌種の分布およびQoI剤耐性菌の発生状況 | 木村智志・大場淳司・近藤誠・千葉直樹・板橋建・大坂正明・関根崇行 | 北日本病害虫研究会報 第70号 (講演要旨) |
| 8 | 2種アブラバチを用いた施設栽培イチゴのアブラムシ類の防除 | 鈴木香深・関根崇行 | 北日本病害虫研究会報 第70号 (報文) |
| 9 | 促成イチゴにおけるハダニ捕食性タマバエおよびハダニアザミウマの発生推移とハダニ類抑制効果 | 関根崇行・菅野亘・駒形泰之 | 北日本病害虫研究会報 第70号 (報文) |
| 10 | 異なる土壌中における作物可給性農薬の動態 | 中村佳与・瀧典明・永田悦祈・清家伸康 | 日本土壌肥料学会2019年度静岡大会(講演要旨) |
| 11 | 80℃16時間水抽出液のCOD簡易測定による畑土壌可給態窒素評価法の宮城県土壌への適用性 | 瀧典明・中村佳与 | 2019年度日本土壌肥料学会東北支部大会(福島大会)発表 |
| 12 | 深度センサを用いたイチゴの収量・草勢予測 | 高橋正明・高山詩織・菅野秀忠・梅田大樹・岩崎泰永・菅野亘 | 2019年農業食料工学会オーガナイズセッション(課題発表) |
| 13 | ドローン搭載マルチスペクトルカメラを用いたブロッコリーの生育量推定 | 瀧典明・吉田千恵・中村佳与 | 令和元年度園芸学会秋季大会発表(ポスター発表) |
| 14 | 散光性フィルム被覆がイチゴ「にこにこベリー」の生育と収量に及ぼす影響 | 高山詩織・櫻井晃治・戸崎雄太 | 令和元年度園芸学会秋季大会発表(ポスター発表) |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 15 | 寒冷地における低温期のEOD-heating処理を用いた変夜温管理がスプレーカーネーションの開花、収量および切り花品質に及ぼす影響 (第2報) | 佐々木厚・足立陽子・津田花愛・道園美弦 | 令和元年度園芸学会秋季大会発表 (ポスター発表) |
| 16 | 寒冷地における低温期のEOD-heating処理を用いた変夜温管理が輪ギクの開花及び切り花品質に及ぼす影響 (第1報) | 足立陽子・佐々木厚・津田花愛・道園美弦 | 令和元年度園芸学会秋季大会発表 (ポスター発表) |
| 17 | 受光量を基にしたカラーピーマンの着果数推定 | 高橋正明・小池修・金子壮 | 令和元年度園芸学会秋季大会 (口頭発表) |
| 18 | 簡易養液栽培での培土連続利用における小ネギ等の生育に及ぼす影響 | 高橋勇人・澤里昭寿・鹿野弘 | 令和元年度園芸学会秋季大会 (ポスター発表) |
| 19 | 寒冷地における低温期のEOD-heating処理を用いた変夜温管理がスプレーギクの開花および切り花品質に及ぼす影響 | 足立陽子・佐々木厚・津田花愛・道園美弦 | 令和元年度園芸学会東北支部令和元年度大会 (発表) |
| 20 | Quantification of strawberry plant growth and amount of light received using a three-dimensional shape measurement sensor | M. Takahashi, S. Takayama, H. Umeda, C. Yoshida, Y. Iwasaki, O. Koike and W. Sugeno | Environmental Control in Biology 誌に投稿 |
| 21 | Development of LAI and vigor estimation method using a three-dimensional shape measurement sensor | M. Takahashi, S. Kaneko, C. Yoshida, O. Koike, H. Umeda and Y. Iwasaki | Acta Horticulturae に投稿 |
| 22 | High yield cultivation in sweet pepper utilizing maximum fruit number estimation and supplementary light (日本語題名: 最大着果果実数推定と補光の活用によるパプリカの多収栽培技術) | 高橋正明 | 国際農業工学会で課題発表 |
| 23 | Temporal Source Strength Estimation of Sweet Pepper for Crop Management and LED Supplement Efficiency Improvement (日本語題名: 栽培管理とLED補光効率改善のためのカラーピーマンの経済的ソース強度推定) | Masaaki Takahashi, So Kaneko, Osamu Koike, Hiroki Umeda, Yasunaga Iwasaki | 2019年国際農業工学会ポスターおよび国際農業工業会(CIGR) プロシーディングに投稿 |
| 24 | Suppressoin Effect of Undersowing with Bariey, Hordeum vulgare (Poales: Poaceae), on Onion Thrips, Thrips tabaci (Thysanoptera: Aeolothripidae) (日本語題名: タマネギ栽培における大麦間作のネギアザミウマ密度抑制効果) | Takayuki Sekine, Toshio Masuda, Shota Inawashiro | Applied Entomology and Zoology (日本応用動物昆虫学会報英文誌) 投稿 |
| 25 | Plant growth inhibitory activities and volatile active compounds of spices and herbs (日本語題名: スパイス・ハーブの植物生長阻害活性及びその揮発性活性物質の検討) | 関根崇行・菅野真実・藤井義晴 | Allelopathy Journal投稿 |
| 26 | イチゴ萎黄病に対する非病原性微生物W5菌株の効果 | 大場淳司・有江力・齊藤大幹・島山聡・今崎伊織 | 第12回フザリウム研究会 (講演要旨(内部資料)) |
| 27 | 県産イチゴ販路拡大に向けた消費者ニーズの把握と環境分析 | 本多めぐみ・菅野千秋 | 東北農業研究 第72号 掲載 |
| 28 | リンゴ側枝下垂型ジョイント樹形用の育苗技術 | 高田万里子 | 東北農業研究 第72号 掲載 |
| 29 | 6次産業化の検討に向けたチェックリスト | 伊藤和子・菅野千秋・本多めぐみ・小笠原聡美 | 東北農業研究 第72号 掲載 |
| 30 | ケールのハウス秋作における播種時期とマルチ被覆が収量、食 | 高橋勇人・澤里昭寿・菅野千秋・本多めぐみ | 東北農業研究 第72号 掲載 |

| | | | |
|----|--|--|-----------------------------------|
| | 味に及ぼす影響 | | |
| 31 | 二次植物を用いたタマネギとキャベツの土着天敵利用の検討 | 関根崇行・大坂正明・大江高穂・駒形泰之・上杉龍士・安部順一朗 | 第29回天敵利用研究会・群馬大会(講演要旨) |
| 32 | 促成イチゴ栽培の天敵利用とIPM-宮城県の現状と展望を中心に | 関根崇行 | 日本応用動物昆虫学会誌 第63巻 第3号 2019年8月 |
| 33 | タマネギ栽培ほ場における土着天敵としてのヒラタアブ類の害虫補食 | 大坂正明・関根崇行・板橋建・千葉直樹・上杉龍士・田淵研 | 第64回日本応用動物昆虫学会への投稿 |
| 34 | 二次植物を用いたタマネギとキャベツの土着天敵利用の検討 | 関根崇行・大江高穂・駒形泰之・大坂正明・安部順一朗 | 第64回日本応用動物昆虫学会への投稿(一般講演用講演要旨) |
| 35 | 振動防除の実用化と効率的な利用方法に向けた取組 | 関根崇行 | 第64回日本応用動物昆虫学会への投稿(小集会(振動防除)講演要旨) |
| 36 | 土着天敵のクモ類を温存するための除草と殺虫剤散布の処理順序 | 駒形泰之・大江高穂・関根崇行 | 第64回日本応用動物昆虫学会 講演要旨 |
| 37 | 施設栽培トマトにおける振動を用いたオンシツコナジラミの防除と受粉促進 | 大江高穂・関根崇行・駒形泰之・小野寺隆一・阿部翔太・高梨琢磨・柴田健吾・小池卓二 | 第64回日本応用動物昆虫学会 講演要旨 |
| 38 | ブロワを活用したバチルス・ズブチリス水和剤の散布によるトマト灰色かび病の防除の検証 | 近藤誠・山中聡 | 令和2年度日本植物病理学会大会発表(口頭) |
| 39 | UV-B拡散反射装置を用いたトマトうどんこ病に対する抑制効果の検討 | 大場淳司 | 令和2年度日本植物病理学会大会発表(口頭)講演要旨予稿集に掲載 |
| 40 | ドローン空撮画像から算出した植生指数によるネギの生育量推定 | 瀧典明・中村佳与 | 令和2年度園芸学会春季大会(口頭発表) |
| 41 | トマトにおける果実の発育ステージ毎の成長速度を考慮した収量シミュレーション | 金子壮・神崎正明・高橋正明・菅野秀忠 | 令和2年度園芸学会春季大会(口頭発表) |
| 42 | 早期多収・省力栽培を可能にするリンゴ樹体ジョイント栽培 | 高田万里子 | グリーンレポートNO.599 (令和元年5月1日号) |
| 43 | 土壌診断に基づく施設ホウレンソウの低コスト施肥技術～混合堆肥複合肥料の利用による施肥コスト低減の可能性～ | 瀧典明 | グリーンレポートNO.600 (令和元年6月1日号) |
| 44 | イチゴ超促成栽培におけるクラウン温度制御を用いた作期拡大と増収技術 | 高山詩織 | グリーンレポートNO.603 (令和元年9月1日号) |
| 45 | にこにこベリー取材(プレスアート社) | 高山詩織 | Kappo 6/5日号 (令和元年6月5日発売) |
| 46 | 高ルテイン含有ホウレンソウ生産技術 | 尾形和磨 | 日本政策金融公庫 HP「技術の窓」(令和元年6月25日掲載) |
| 47 | イチゴ新品種「にこにこベリー」の各種病害に対する耐病性 | 近藤誠 | 植物防疫みやぎ7月発行(128号技術シリーズ) |
| 48 | 次世代施設園芸宮城県拠点の取り組み | 金子壮 | ハイドロポニックス 33巻第1号(9月15日発刊) |
| 49 | 気門封鎖剤の特徴、作物への使用例、IPMの中での役割 | 関根崇行 | 日本農業新聞(8月29日掲載) 広告企画「気門封鎖剤特集」 |
| 50 | 高温期のハウス内作業における熱ストレス対策用ウェアラブル | 菅野秀忠 | 日本農民新聞社「施設と園芸」No.187号(201 |

| | | | |
|----|---|------|------------------------------|
| | センサの活用 | | 9年10月下旬発行 |
| 51 | ペットボトルを使用した省スペースで実施できるアブラナ科野菜根こぶ病生物検定 | 板橋建 | 月刊「植物防疫」2020年2月号 |
| 52 | コメント 東北農業経済学会宮城大会シンポジウムコメント | 伊藤和子 | 学会誌「農村経済研究」 |
| 53 | ルテイン含有量が安定して多いほうれん草を生産する技術－ほうれんそう機能性表示販売に向けた実証研究－ | 尾形和磨 | グリーンレポートNO.609 (令和2年3月1日号掲載) |

【平成30年度】

| No | 発表課題名 | 研究者名 | 発表誌・巻・号・年月 |
|----|--|--|------------------------|
| 1 | カラーピーマン果実の着色促進に関する研究 | 吉田千恵 | 宮城県農業・園芸研究所研究報告 第87号 |
| 2 | 宮城県におけるキュウリ地上部病害に対する各技術を組み合わせた防除の検証 | 近藤誠 | 北日本病害虫研究会報 第69号(報文) |
| 3 | 光反射シートによるタマネギのネギアザミウマ密度抑制効果 | 関根崇行・猪苗代翔太・鈴木香深・山澤富雄・藤田勇 | 北日本病害虫研究会報 第69号(報文) |
| 4 | 宮城県における園芸作物圃場から採取したアザミウマ類3種に対する各種薬剤の殺虫効果 | 猪苗代翔太・関根崇行・板橋建 | 北日本病害虫研究会報 第69号(報文) |
| 5 | 転炉スラグによるホウレンソウ萎凋病の被害軽減と土壌ECとの関係 | 大場淳司・狐塚慶子・菊地友佳里・関拓真 | 北日本病害虫研究会報 第69号(講演要旨) |
| 6 | 宮城県のキュウリ主要作型におけるキュウリモザイクウイルス・スイカモザイクウイルス弱毒株接種苗の実用性 | 瀬尾直美・梁宝成・板橋建・大坂正明・山村真弓・猪苗代翔太・高橋勇人・澤里昭寿・木村重光・鈴木誠一 | 北日本病害虫研究会報 第69号(講演要旨) |
| 7 | 宮城県における近年のリンゴ斑点落葉病の発生と気象条件の関係 | 木村智志・大場淳司・近藤誠 | 北日本病害虫研究会報 第69号(講演要旨) |
| 8 | 四季成りイチゴ栽培におけるアカメガシワクダアザミウマの利用技術の検討 | 鈴木香深・関根崇行・大朝真喜子 | 北日本病害虫研究会報 第69号(講演要旨) |
| 9 | 第三者認証GAPによる効果と課題 | 本多めぐみ | 東北農業研究 第71号 |
| 10 | パプリカにおける日射量に基づく着果数および収量予測方法の検討 | 金子壮・高橋正明・相澤正樹・菅野圭一 | 東北農業研究 第71号 |
| 11 | 宮城県における夏秋ギク型小ギクの開花調節技術 | 津田花愛・佐々木厚・山口義昭・足立陽子 | 東北農業研究 第71号 |
| 12 | 小ギク矮化ウイルス抵抗性品種の探索と実用性評価 | 大坂正明・板橋建・千葉直樹・瀬尾直美・津田花愛・山口義昭・足立陽子・佐々木厚・鈴木誠一・松下陽介 | 東北農業研究 第71号 |
| 13 | 光反射シート利用によるブドウ「シャインマスカット」増収技術 | 庄子雅和・柴田昌人 | 東北農業研究 第71号 |
| 14 | 加工・業務用野菜の生産販売状況と定着条件 | 伊藤和子・菅野千秋・小笠原聡美 | 東北農業研究 第71号 |
| 15 | 津波被災復旧畑土壌への各種有機質資材添加による土壌物理 | 瀧典明・吉田千恵 | 日本土壌肥科学会2018年度神奈川大会, 報 |

| | | | |
|----|--|---|--|
| | 性改良効果 | | スター発表, 講演要旨集第64集 |
| 16 | 電動作業台車による加工用トマトかがみ収穫の作業負担軽減 | 高橋正明・小池修 | 農業環境工学関連学会2018年合同大会(口頭発表) |
| 17 | 遮光条件が初夏どりハウレンソウのルテイン含有量に及ぼす影響 | 尾形和磨・鹿野弘・山村真弓 | 平成30年度園芸学会秋季大会にて発表(ポスター発表) |
| 18 | 宮城県のタマネギ秋まき栽培と春まき栽培を組み合わせた6~7月連続収穫 | 澤里昭寿・高橋勇人・山村真弓 | 平成30年度園芸学会秋季大会にて発表(ポスター発表) |
| 19 | 3次元形状計測センサを用いたカラーピーマンの生育解析 | 高橋正明・小池修・吉田千恵・岩崎泰永 | 平成30年度園芸学会秋季大会にて発表(ポスター発表) |
| 20 | 培養液濃度および摘果処理が一季成り性イチゴ‘にこにこベリー’の収量と果実糖度に及ぼす影響 | 高山詩織・今野誠・鹿野弘 | 平成30年度園芸学会秋季大会にて発表(ポスター発表) |
| 21 | 寒冷地における低温期のEOD-heating処理を用いた変夜温管理がスプレーカーネーションの開花, 収量および切り花品質に及ぼす影響 | 佐々木厚・山口義昭・足立陽子・津田花愛・山村真弓・道園美弦 | 平成30年度園芸学会秋季大会にて発表(ポスター発表) |
| 22 | 消費者を対象にしたイチゴの消費動向および宮城県オリジナル新品種‘にこにこベリー’に関する試食調査 | 高山詩織・鹿野弘・尾形和磨 | 園芸学会東北支部平成30年度大会研究発表要旨 |
| 23 | 寒冷地のスプレーギク栽培に適した暗期中断用各種光源の利用可能性に関する研究 | 佐々木厚 | 園芸学会東北支部平成30年度大会 平成30年度園芸学会東北支部賞 受賞者業績要旨 |
| 24 | イチゴ炭疽病に対する次亜塩素酸水の防除効果 | 大場淳司・三浦慎一・中村悌一・橋本好弘 | 平成30年度日本植物病理学会東北部会で口頭発表 |
| 25 | ニホンナシ‘甘太’におけるスポンジ状果の発生要因と低温貯蔵による変化 | 高田万里子・阪本大輔・羽山裕子・三谷宣仁・伊東明子・山根崇嘉・杉山洋行・草場新之助 | 園芸学研究第18巻別冊1:園芸学会平成31年度春季大会研究発表(ポスター) |
| 26 | 2種アブラバチにおける植物およびアブラムシへの寄主選好性について | 鈴木香深・光永貴之・長坂幸吉 | 第63回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨 |
| 27 | リビングマルチを活用した「土着」微生物の有用管理技術 | 大坂正明・中村茂雄・板坂建・千葉直樹・関根崇行 | 第63回日本応用動物昆虫学会大会(ポスター発表) |
| 28 | 宮城県内リンゴ園から採取したナミハダニに対する殺ダニ剤の効果 | 関根崇行・伊藤博祐・柴田昌人 | 第63回日本応用動物昆虫学会大会(ポスター発表) |
| 29 | 落葉処理によるナシ黒星病の被害軽減効果 | 大場淳司・近藤誠・木村智志 | 平成31年度日本植物病理学会において口頭発表 |
| 30 | 排水不良復旧農地でのネギ栽培における肥効調節型肥料の局所施肥効果 | 瀧典明・吉田千恵 | 園芸学研究第18巻別冊1:園芸学会平成31年度春季大会研究発表 |
| 31 | キク矮化ウイルスの抵抗性遺伝パターンと不定根形成に及ぼす影響 | 大坂正明・板橋建・千葉直樹・津田花愛・足立陽子・佐々木厚・松下陽介 | 園芸学研究第18巻別冊1:園芸学会平成31年度春季大会研究発表 |
| 32 | カラーピーマン施設栽培の収量と栽植密度の違いが労働生産性と収益に及ぼす影響 | 高橋正明・小池修・金子壮 | 園芸学研究第18巻別冊1:園芸学会平成31年度春季大会研究発表(ポスター) |
| 33 | イチゴ新品種‘にこにこベリー’の育成 | 高山詩織 | 「施設と園芸」No.181(2018春)ミニ情報 |

| | | | |
|----|---|-----------|---|
| | | | (平成30年4月25日発行) |
| 34 | 水稻育苗箱を利用した小ネギ等葉茎菜類の簡易養液栽培 | 鹿野弘 | 農業技術体系「野菜編」第8-①巻 ネギ、及び「ネギ大辞典」(H31年1月発行) |
| 35 | 宮城県の取組～園芸生産の産地復興～ | 高山詩織 | ハイドロポニックス第32巻第1号 2018年9月15日発行(特集東日本大震災から7年) |
| 36 | ハダニ、コナジラミなどに高い効果 | 関根崇行 | 日本農業新聞 新規広告企画「気門封鎖剤特集」 |
| 37 | イチゴ萎黄病の発生生態と防除対策 | 大場淳司 | 技術と普及 平成30年7月号 |
| 38 | 秋まき用品種を生かして春まき栽培5.8t/10aどり | 澤里昭寿 | 農業技術大系 野菜編 第8-②巻 タマネギ精農家事例 |
| 39 | パプリカにおける日射量に基づく着果数及び収量予測方法の確立 | 金子壮 | 「施設と園芸」No.183(2018秋)ミニ情報(平成30年10月25日発行) |
| 40 | ハウレンソウのルテイン機能性表示販売に向けた実証研究 | 尾形和磨 | 雪印種苗(株)2019年「牧草と園芸」別冊野菜特集号 |
| 41 | キャベツ複数技術組み合わせ農薬半減大麦リピングマルチ主体に総合防除 | 関根崇行 | 全国開拓振興協会会誌「開拓情報8月号」 |
| 42 | 収量及び果形に優れ年内収穫可能なイチゴ新品種「にこにこベリー」 | 高山詩織 | (一社)全国農業改良普及支援協会農業サイト「みんなの農業広場」の「注目の農業技術」コーナー |
| 43 | 宮城県における「シャインマスカット」の加温栽培 | 庄子稚和 | 「果実日本」2018年10月号 |
| 44 | リンゴのジョイント栽培の課題と可能性 | 大沼欣生 | 「果実日本」2019年1月号 |
| 45 | キュウリホモブシス根腐病に対する土壌還元消毒の効果の持続性 | 近藤誠 | 土づくりとエコ農業(2018年12月/2019年1月号) |
| 46 | 転炉スラグによる土壌pH矯正と耐病性品種を併用したイチゴ萎黄病の被害軽減技術 | 大場淳司 | 土づくりとエコ農業(2018年12月/2019年1月号) |
| 47 | 早期多収・省力栽培を可能にする側枝上方誘引型リンゴジョイント栽培 | 高田万里子 | 誠文堂新光社発行農業技術情報誌「農耕と園芸」2019年2月号 |
| 48 | ナシ黒星病の罹病落葉の処理による第一次伝染源の除去 | 近藤誠 | 植物防疫みやぎ第126号 平成30年8月発行 |
| 49 | 気門封鎖剤の効果的な利用方法について | 関根崇行 | 植物防疫みやぎ第127号 平成31年1月発行 |
| 50 | 震災からの復興に向けた宮城県内におけるブドウ「シャインマスカット」の実証研究と現地での取組 | 大沼欣生・柴田昌人 | 大日本農会会誌「農業」平成31年1月号 |
| 51 | 秋播き+晩秋播き+春播き 三つの作型を組み合わせ、タマネギの6～7月連続収穫 | 澤里昭寿 | 現代農業3月号 |
| 52 | キャベツの長期無追肥育苗による生育斉一化技術 | 澤里昭寿 | グリーンレポートNO.589(平成30年7月1日号) |

(6) 刊行物・広報・普及資料の発行及び配付先・内容等

【令和2年度】

| 名 称 | 配布先等 | 内 容 |
|--------------------------|---------------------------|---|
| 普及に移す技術 (第96号) | 県内関係機関・団体等 | 普及に移すことが適当であると見込まれた試験研究成果を編集 令和3年4月 HPに掲載, CD-ROMで56部配布 |
| 宮城県農業・園芸総合研究所研究報告 (第88号) | 県内関係機関・団体, 公設試験研究機関, 大学等 | 農業・園芸総合研究所終了試験研究課題等から作成 令和3年3月 60部発行, HPに掲載 |
| 令和元年度宮城県農業・園芸総合研究所業務年報 | 県内関係機関・団体等, 東北地方公設試験研究機関等 | 農業・園芸総合研究所が令和元年度に実施した業務報告 令和3年3月 300部発行, HPに掲載 |
| 令和2年度試験成績概要書 | 県内関係機関・団体等 | 農業・園芸総合研究所が令和2年度に実施した試験成績概要を編集 令和3年3月 60部発行 |

【令和元年度】

| 名 称 | 配布先等 | 内 容 |
|--------------------------|---------------------------|---|
| 普及に移す技術 (第95号) | 県内関係機関・団体等 | 普及に移すことが適当であると見込まれた試験研究成果を編集 令和2年4月 HPに掲載, CD-ROMで57部配布 |
| 平成29年度 宮城県農業・園芸総合研究所業務年報 | 県内関係機関・団体等, 東北地方公設試験研究機関等 | 農業・園芸総合研究所が平成29年度に実施した業務報告 令和2年3月 100部発行 HPに掲載 |
| 平成30年度 宮城県農業・園芸総合研究所業務年報 | 県内関係機関・団体等, 東北地方公設試験研究機関等 | 農業・園芸総合研究所が平成30年度に実施した業務報告 令和2年3月 100部発行 HPに掲載 |
| 令和元年度 試験成績概要書 | 県内関係機関・団体等 | 農業・園芸総合研究所が令和元年度に実施した試験成績概要を編集 令和2年3月 60部発行 |

【平成30年度】

| 名 称 | 配布先等 | 内 容 |
|--------------------------|----------------------------|--|
| 普及に移す技術 (第94号) | 県内関係機関・団体等 | 普及に移すことが適当であると見込まれた試験研究成果を編集 平成31年4月 HPに掲載, CD-ROMで57部配布 |
| 宮城県農業・園芸総合研究所研究報告 (第87号) | 県内外の関係機関・団体, 公設試験研究機関, 大学等 | 農業・園芸総合研究所終了試験研究課題等から作成 平成31年3月 300部発行 |
| 平成28年度宮城県農業・園芸総合研究所業務年報 | 県内関係機関・団体等, 東北地方公設試験研究機関等 | 農業・園芸総合研究所が平成28年度に実施した業務報告 |

| | | |
|---------------|------------|--|
| | 機関等 | 平成31年3月 100部発行 |
| 平成30年度試験成績概要書 | 県内関係機関・団体等 | 農業・園芸総合研究所が平成30年度に実施した試験成績概要を編集 平成31年3月 60部発行 |

2 知的財産

(1) 特許・実用新案の出願及び登録

| 種別 | 名称 | 発明者 | 出願年月日 | 登録年月日 | 登録番号 | 備考 |
|-----|---------------------|---|----------------------------|------------|-----------|-----------|
| 特許権 | 植物病害防除剤 | 関根崇行, 増田俊雄 | H21. 7. 29 | H26. 1. 17 | 第5455114号 | |
| 特許権 | 移動栽培装置 | 岩崎泰永, 漆山喜信, 林茂彦 (生研センター), 奈古屋隆人 ((株)誠和), 加納賢三 ((株)誠和) | H20. 9. 5 生研センター が出願 | H25. 5. 31 | 第5277379号 | |
| 特許権 | 中腰作業補助装置 | 相澤正樹, 横井浩史 (東京大学), 西村昭男 (室蘭市医師), 高橋保行 (苫小牧市), 大原巧 (苫小牧市), 鈴木賢次 ((有)電気工作業の鈴木) | H19. 7. 24 | H23. 11. 4 | 第4852691号 | R2年度維持停止 |
| 特許権 | 農作業用台車および農作業用椅子 | 山村真弓, 相澤正樹, 小野隆夫 | H17. 7. 7 | H23. 3. 4 | 第4691724号 | R2年度維持停止 |
| 特許権 | 植物ウイルス由来プロモーター | 中村茂雄, 瀬尾直美, 日本製紙(株), 佐野義孝 (新潟大学) | H14. 5. 22 | H19. 9. 14 | 第4010356号 | H28年度維持停止 |
| 特許権 | 袋詰め器具 | 菅野秀忠, 小野隆夫 | H15. 1. 31 | H19. 1. 5 | 第3896484号 | H24年度維持停止 |
| 特許権 | 簡易開閉式農業用ハウス | 山村真弓, 相澤正樹, 小野隆夫 | H22. 3. 30 | | | H24年度取り下げ |
| 特許権 | 振動による害虫防除および作物受粉の方法 | 関根崇行 猪苗代翔太 (共同出願人) 宮城県, 国立研究開発法人森林研究 整備機構, 国立大学法人電気通信大 学, 東北特殊鋼株式会社, 国立大学 法人琉球大学, 神奈川県, 兵庫県 | H31. 2. 21 | | | |

(2) 新品種 (種苗法による種苗登録)

| 種 目 | 登録品種名 | 育 成 者 | 出願年月日 | 登録年月日 | 登録番号 | 備 考 |
|-----|-----------|--|------------|-------------|---------|------------------|
| きく | ティーレッド | 佐々木厚, 鈴木誠一 | H21. 3. 17 | H24. 9. 25 | 第21962号 | H30年度維持停止 |
| ゆり | ルビーマジック | 鈴木誠一, 佐々木厚 | H21. 3. 17 | H24. 2. 2 | 第21370号 | R2年度維持停止 |
| りんご | サワールージュ | 菊地秀喜, 大沼康, 池田裕章, 大沼欣生, 鎌田賢治, 高嶋名世瑠, 鵜飼真澄, 安江恵美子, 菅原怜 | H22. 3. 8 | H23. 3. 15 | 第20602号 | |
| いちご | もういっこ | 鹿野弘, 高野岩雄, 大沼康, 庄子孝一, 本多信寛, 関根崇行 | H17. 4. 1 | H20. 3. 5 | 第16154号 | |
| きく | ロゼページェント | 佐々木厚, 平野幸孝*, 竹山亜衣子* | H16. 7. 8 | H19. 12. 18 | 第15960号 | H28年度維持停止 *全農 |
| きく | オータムプリンセス | 佐々木厚, 佐藤泰征 | H16. 6. 1 | H19. 12. 18 | 第15956号 | H28年度維持停止 |
| いちご | サマードロップ | 鹿野弘, 高野岩雄, 大沼康 | H21. 3. 17 | H23. 3. 28 | 第20762号 | H25年度維持停止 |
| ゆり | 杜のロマン | 庄子孝一, 鈴木誠一 | H 8. 9. 6 | H12. 6. 27 | 第8196号 | H24年度維持停止 |
| いちご | にこにこベリー | 高山詩織, 鹿野弘, 小野寺康子, 今野誠, 柴田昌人, 高野岩雄 | H29. 3. 27 | | | 登録出願中 |
| せり | Re14-4 | 大坂正明, 澤里昭寿, 板橋建, 千葉直樹, 高橋勇人 | R 2. 3. 30 | | | 登録出願中 |

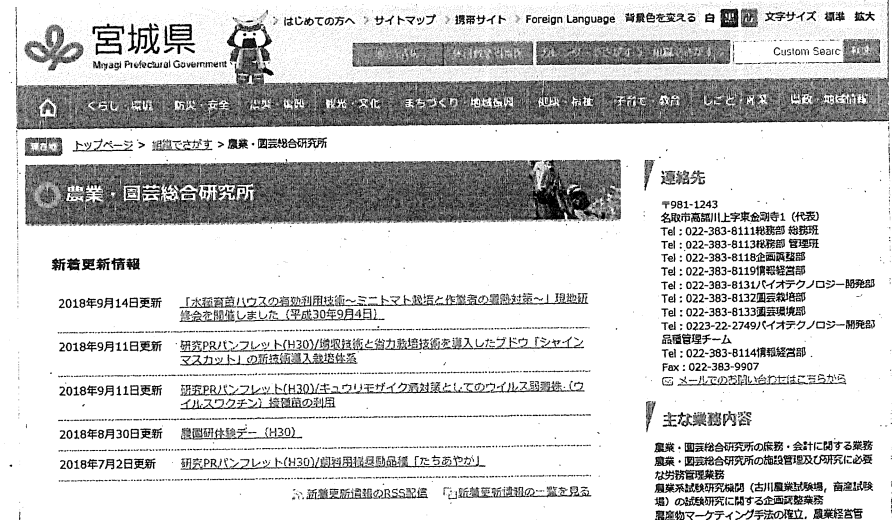
3 成果の公開

(1) ホームページの概要

◆トップページ

- 新着情報
- イベント情報・お知らせ
- 農業系3場所（農園研・古試・畜試）
- 農業・園芸総合研究所について
- 食料生産地域再生のための先端技術展開事業
- 研究内容のご案内
- マニュアル
- 知的財産
- 業務年報

※ホームページの構成は、令和3年11月23日（火）までのもの。
 令和3年11月24日（水）より、宮城県全体のホームページの構成が変更されたことに伴い、農業・園芸総合研究所のホームページの構成は変更されている。



農園研ホームページ（トップページ）

(2) ホームページ「研究トピックス」

【令和2年度】

| 掲載月日 | タイトル | 場所 |
|------------|---|------------|
| 令和2年7月8日 | フリーズドライ精子による子牛の誕生 | 畜産試験場 |
| 令和2年8月12日 | 「夏熱対策対策技術研修会」を開催しました | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和2年10月26日 | 「知的財産に関すること及び大学との連携促進についての所内研修会」を開催しました | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和2年10月26日 | 県内産卵センターの生産推測モニタリングについて | 畜産試験場 |
| 令和2年10月26日 | スマート農業の推進について～農薬散布用ドローン（無人マルチローター）の活用～ | 古川農業試験場 |
| 令和2年11月26日 | 主ク類やカーネーションの切り花栽培における冬型の炭酸ガス施用 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和2年11月26日 | AIを活用した病害虫診断技術の開発 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和3年2月5日 | プロバイオティクス飼料の給与による乳牛の乳房炎発症予防について | 畜産試験場 |
| 令和3年2月5日 | 有望品目「ちぢみゆきな」に関する消費者・業者とのニーズの把握 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和3年3月1日 | 四葉成りはイテコ新系統の現地試験 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和3年3月11日 | 夏の低温と高温両方に強いイネ品種の開発について | 古川農業試験場 |
| 令和3年3月11日 | スマート農業の推進について（水稲種子生産におけるスマート農業の取組） | 古川農業試験場 |
| 令和3年3月17日 | 富城県養豚研究会 令和2年度第1回研究会について | 畜産試験場 |
| 令和3年3月26日 | 「令和2年度富城県農業・園芸総合研究所研究成果報告会」を開催しました | 農業・園芸総合研究所 |

【令和元年度】

| 掲載月日 | タイトル | 場所 |
|-----------|--|------------|
| 令和2年3月2日 | スマート農業の推進について (スマート農業技術の開発・実証プロジェクトの取組) | 古川農業試験場 |
| 令和2年3月2日 | 潤滑好適米新品種「時のいろは」について | 古川農業試験場 |
| 令和2年3月2日 | 遺伝子診断技術を活用した病害診断 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和2年2月25日 | 主ク類のEOD-Heatingを用いた多段階変温管理による重油消費削減 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和2年2月3日 | ガス発生剤を用いた簡易的な体外受精卵作出技術 | 畜産試験場 |
| 令和2年1月6日 | ここにこペリーの生産振興と販路拡大 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和2年1月6日 | 「草のスペシャリストと園芸研究者との交流会」を開催しました | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和元年12月2日 | 「農業の『働き方改革』に向けた女性や若者等が働きやすい就業環境のモデル化」に関する研究の取組について | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和元年12月2日 | 富城県基礎種雄牛「茂洋」号が死亡しました | 畜産試験場 |
| 令和元年11月1日 | 「古川農業試験場参観デー」を開催しました | 古川農業試験場 |
| 令和元年11月1日 | 富城県いちごIPMマニュアルを作成しました | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和元年10月4日 | 富城県養豚研究会 令和元年度第1回研究会について | 畜産試験場 |
| 令和元年8月2日 | 食肉脂質測定装置による筋肉脂肪の測定について | 畜産試験場 |

【平成30年度】

| 掲載月日 | タイトル | 場所 |
|------------|---|------------|
| 令和2年7月8日 | フリーズドライ精子による子牛の誕生 | 畜産試験場 |
| 令和2年8月12日 | 「異熱軽減対策技術研修会」を開催しました | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和2年10月26日 | 「知的財産に関すること及び大学との連携促進についての所内研修会」を開催しました | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和2年10月26日 | 県内産卵センターの生産進捗モニタリングについて | 畜産試験場 |
| 令和2年10月26日 | スマート農業の推進について～農業用ドローン（無人マルチローター）の活用～ | 古川農業試験場 |
| 令和2年11月26日 | ミケノシロやカーネーションの切り花栽培における冬季の炭酸ガス施用 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和2年11月26日 | AIを活用した病害虫診断技術の開発 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和3年2月5日 | プロバイオティクス飼料の給与による乳牛の乳房炎発症予防について | 畜産試験場 |
| 令和3年2月5日 | 有線品目「ちぢみゆきな」に関する消費者・産業者のニーズの把握 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和3年3月1日 | 四季成り性イチゴ新系統の現地試験 | 農業・園芸総合研究所 |
| 令和3年3月11日 | 夏の低温と高温両方に強いイチゴ品種の開発について | 古川農業試験場 |
| 令和3年3月11日 | スマート農業の推進について（水稲種子生産におけるスマート農業の取組） | 古川農業試験場 |
| 令和3年3月17日 | 宮城県養蚕研究会 令和2年度第1回研究会について | 畜産試験場 |
| 令和3年3月26日 | 「令和2年度宮城県農業・園芸総合研究所研究成果報告会」を開催しました | 農業・園芸総合研究所 |

VIII 技術指導関係業務等の状況

1 技術指導・相談の実績

(1) 現地実証ほ

【令和2年度】

| 課 題 名 | 内 容 | 所在地 |
|---|---------------------------------|----------------------------|
| みやぎオリジナル品種育成 | 現地栽培試験 | 七ヶ宿町1件, 栗原市1件 |
| | 試験系統の現地特性調査 | 石巻市1件 |
| 先端技術展開事業の研究成果の社会実装促進(先端プロ) | タマネギ春まき, 晩秋まきの生産実証 | 大河原町1件 |
| | イチゴクラウン温度制御現地展示ほ | 亶理町1件 |
| | 「キャベツ等露地野菜の安定生産技術」現地展示ほ | 岩沼市1件 |
| | 水稻育苗ハウスの有効利用技術現地展示ほ | 東松島市1件 |
| イチゴオリジナル品種「にこにこベリー」の高品質安定生産技術の確立 | イチゴ現地展示ほ | 山元町1件, 亶理町1件, 登米市1件, 石巻市2件 |
| ステレオカメラを利用したイチゴの電照技術の見える化(みやぎの農業試験研究F S(フーズビリティスタディ)事業) | イチゴの生育データ収集, 生産者聞き取り等 | 山元町2件, 亶理町1件 |
| 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証研究(先端プロ) | 冬どりタマネギの生産実証 | 福島県南相馬市1件 |
| 先端技術展開事業の研究成果の社会実装促進(先端プロ) | ブドウ「シャインマスカット」展示ほ | 山元町1件 |
| 農作物有害動植物発生予察事業 | ナシ黒星病調査 | 蔵王町1件, 利府町1件 |
| AIを活用した土壌病害診断技術の開発 | キク, 発病調査及び土壌調査等 | 丸森町2件, 大崎市1件 |
| | アブラナ科野菜, 発病調査及び土壌調査等 | 加美町2件, 美里町1件, 栗原市1件, 登米市3件 |
| 昆虫の寄主選択機構に着目した総合的害虫管理技術の開発 | カーネーションにおける天敵製剤を利用したハダニ類防除技術の開発 | 名取市2件 |
| | イチゴにおける次世代型バンカー資材の効果実証 | 山元町1件 |
| | リンゴにおける天敵製剤及び土着天敵の調査 | 大郷町1件 |

| | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------|
| | パプリカにおける各種天敵及び害虫の動態調査 | 栗原市1件 |
| 先端技術展開事業の研究成果の社会実装促進(先端プロ) | イチゴIPM現地展示ほ | 亘理町1件 |
| 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証研究(先端プロ) | ネギ、タマネギほ場の空撮画像を用いた生育量評価と土壌水分推定 | 仙台市1件, 南三陸町1件 |
| 津波被災復旧農地の土づくり促進及び施肥技術の確立による露地野菜生産安定化 | ネギにおける酸素供給剤の施用効果確認試験 | 仙台市1件 |
| | 排水不良復旧農地でのネギ秋冬どり作型における施肥体系比較試験 | 南三陸町1件 |
| 果菜類における総合的作物管理を目指した総合的病害管理技術の開発 | キュウリ病害調査 | 富谷市1件 |
| 農作物病害虫防除等の新農薬並びに新肥料資材効果確認試験 | 復旧農地でのネギ初夏どり作型における施肥体系比較試験 | 南三陸町1件 |

【令和元年度】

| 課題名 | 内容 | 所在地 |
|--|-------------------------|-----------------------------|
| みやぎオリジナル品種育成 | 現地栽培試験 | 七ヶ宿町1件, 栗原市1件 |
| | 試験系統の現地特性調査 | 石巻市1件 |
| 寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証(経営体強化プロ) | タマネギ春まき, 晩秋まきの生産実証 | 大河原町1件 |
| | 水稻育苗箱を利用した簡易養液栽培の生産実証 | 仙台市1件 |
| 3次元形状計測センサ(キネクト)を活用する施設果菜類の群落光合成測定と草勢制御(イノベーション創出強化研究推進事業) | イチゴの生育データ収集, 生産者聞き取り等 | 山元町2件, 亘理町1件, 石巻市1件 |
| | 「キャベツ等露地野菜の安定生産技術」現地展示ほ | 岩沼市1件 |
| 先端技術展開事業の研究成果の社会実装促進(先端プロ) | イチゴクラウン温度制御現地展示ほ | 亘理町1件 |
| | キャベツ収穫機の現地実演 | 登米市1件 |
| | 水稻育苗ハウスの有効利用技術現地展示ほ | 東松島市1件 |
| イチゴオリジナル品種「にこにこベリー」の高品質安定生産技術の確立 | イチゴ現地展示ほ | 山元町1件, 登米市1件, 石巻市1件, 東松島市1件 |
| 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証研究(先端プロ) | 冬どりタマネギの生産実証 | 福島県南相馬市1件 |

| | | |
|---|--|------------------------------------|
| 先端技術展開事業の研究成果の社会実装促進 (先端プロ) | ブドウ「シャインマスカット」展示ほ | 山元町 1 件 |
| 農作物有害動植物発生予察事業 | ナシ黒星病調査 | 蔵王町 1 件, 利府町 1 件 |
| AI を活用した土壌病害診断技術の開発 | キク, 発病調査及び土壌調査等 | 丸森町 2 件, 大崎市 1 件 |
| | アブラナ科野菜, 発病調査及び土壌調査等 | 加美町 2 件, 美里町 1 件, 栗原市 1 件, 登米市 3 件 |
| 昆虫の寄主選択機構に着目した総合的害虫管理技術の開発 | カーネーションにおける天敵製剤を利用したハダニ類防除技術の開発 | 名取市 1 件, 亶理町 1 件 |
| | イチゴにおける次世代型バンカー資材の効果実証 | 山元町 2 件 |
| | リンゴにおける天敵製剤及び土着天敵の調査 | 大郷町 1 件 |
| | イチゴにおける輸出用 I P M 体系の確立 | 東松島市 1 件 |
| 先端技術展開事業の研究成果の社会実装促進 (先端プロ) | イチゴ IPM 現地展示ほ | 亶理町 1 件 |
| 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証研究 (先端プロ) | ネギほ場の空撮画像を用いた生育量評価と土壌水分推定 | 仙台市 1 件, 南三陸町 1 件 |
| | キャベツほ場の空撮画像を用いた生育量評価 | 石巻市 1 件 |
| 果菜類における総合的作物管理を目指した総合的病害管理技術の開発 | キュウリ病害調査 | 仙台市 1 件 |
| | イチゴ病害調査 | 石巻市 1 件 |
| 大規模施設栽培における天敵類の個体群変動に基づく効率的な天敵導入の提案 (FS 事業) | パプリカにおける各種天敵及び害虫の動態調査 (新規アブラムシ製剤 (バンカー型製剤) 含む) | 栗原市 1 件 |
| 津波被災復旧農地の土づくり促進及び施肥技術の確立による露地野菜生産安定化 | ネギの施肥体系比較試験 | 南三陸町 1 件 |

【平成30年度】

| 課題名 | 内容 | 所在地 |
|--|---------------------------------|-------------------------|
| 寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証（経営体強化プロ） | タマネギ春まき，晩秋まきの生産実証 | 大河原町1件 |
| | 水稻育苗箱を利用した簡易養液栽培の生産実証 | 仙台市1件 |
| 大規模施設園芸経営体における作業労力の確保と適正な栽培管理手法の開発 | パプリカ生産ほ場での技術実証 | 石巻市1件 |
| 宮城から提案する新規園芸品目の生産技術の開発 | プンタレッツ等の生産実証 | 丸森町1件 |
| 民間企業と連携した加工・業務用ばれいしょ生産の推進 | ばれいしょ機械化生産体系生産実証 | 美里町1件 |
| 健康の維持増進に有効な機能性成分高含有野菜の栽培実証と機能性表示食品の開発 | 高ルテインホウレンソウ生産実証 | 登米市1件 |
| 四季成りイチゴの夏期高温対策技術 | 四季成りイチゴ生産実証 | 栗原市1件 |
| パイプハウスにおける新たな保温対策技術の開発 | 蓄熱資材による省エネ技術実証 | 岩沼市1件 |
| 作業管理システム及び生育予測を核とした大規模施設園芸発展スキームの構築 | トマト作業管理、生育予測技術実証 | 石巻市1件 |
| 3次元形状計測センサ（キネクト）を活用する施設果菜類の群落光合成測定と草勢制御（イノベーション創出強化研究推進事業） | イチゴの生育データ収集，生産者聞き取り等 | 山元町2件，亘理町1件，石巻市1件 |
| 栽培・労務管理の最適化を加速するオープンプラットフォームの整備 | トマト生産労務管理システム構築 | 仙台市1件、石巻市1件、大衡村1件 |
| 農作物有害動植物発生予察事業 | ナシ黒星病調査 | 蔵王町1件，利府町1件 |
| AIを活用した土壌病害診断技術の開発 | キク，発病調査及び土壌調査等 | 丸森町2件，大崎市1件 |
| | アブラナ科野菜，発病調査及び土壌調査等 | 加美町2件，美里町1件，栗原市1件，登米市3件 |
| 昆虫の寄主選択機構に着目した総合的害虫管理技術の開発 | カーネーションにおける天敵製剤を利用したハダニ類防除技術の開発 | 名取市1件，亘理町1件 |
| | イチゴにおける次世代型バンカー資材の効果実証 | 山元町2件 |
| | リンゴにおける天敵製剤及び土着天敵の調査 | 大郷町1件 |
| | イチゴにおける輸出用IPM体系の確立 | 東松島市1件 |
| 先端技術展開事業の研究成果の社会実装促進（先端プロ） | イチゴIPM現地展示ほ | 亘理町1件 |

| | | |
|---|---|---------------|
| 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証研究（先端プロ） | ネギほ場の空撮画像を用いた生育量評価と土壌水分推定 | 仙台市1件, 南三陸町1件 |
| | キャベツほ場の空撮画像を用いた生育量評価 | 石巻市1件 |
| 果菜類における総合的作物管理を目指した総合的病害管理技術の開発 | キュウリ病害調査 | 仙台市1件 |
| | イチゴ病害調査 | 石巻市1件 |
| 大規模施設栽培における天敵類の個体群変動に基づく効率的な天敵導入の提案（FS事業） | パプリカにおける各種天敵及び害虫の動態調査（新規アブラムシ製剤（バンカー型製剤）含む） | 栗原市1件 |
| 津波被災復旧農地の土づくり促進及び施肥技術の確立による露地野菜生産安定化 | ネギの施肥体系比較試験 | 南三陸町1件 |

(2) 普及指導員調査研究との連携

普及指導員は、農業分野における高度かつ多様なニーズに対応し、普及指導活動が効果的、効率的に実施されるよう、試験研究機関、市町村、農業団体の他、大学、民間機関、教育機関と密接に連携し、専門項目に関する技術及び普及指導活動の方法について調査・研究等を行うこととされている。このうち、農業・園芸総合研究所で開発した新技術・新品種等の現地適応に向けた試験研究連携型の調査研究は、令和2年度は14課題、令和元年度は10課題、平成30年度は10課題実施された。

イ 令和2年度

| 連携普及センター | 普及指導員 調査研究課題名 | 担当部 | 関連する研究課題名 等 |
|----------|--|---------------|---|
| 大河原 | ナシ黒星病菌による芽りん片への感染時期と落葉時期の関係に関する調査 | 園芸環境部 病害チーム | モモ・ナシの高品質・安定生産を実現する病害防除技術体系の実証研究・農作物有害動植物発生予察事業 |
| 大河原 | シャインマスカットの省力技術の実証 | 花き・果樹部 果樹チーム | ブドウ「シャインマスカット」の花穂・果房管理や新梢管理の省力技術 |
| 大河原 | 小ぎく半身萎凋病における健康診断に基づく土壌病害管理 | 園芸環境部 病害チーム | AIを活用した土壌病害診断技術の開発 |
| 亘理 | カーネーションの夏季薬剤散布労力軽減技術の検討 | 園芸環境部 虫害チーム | カーネーションにおける害虫管理技術の確立 |
| 仙台 | キュウリにおける低コスト薬剤散布法の実証 | 園芸環境部 病害チーム | 果菜類における総合的作物管理を目指した総合病害管理技術の開発 |
| 仙台 | 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証 | 園芸環境部 土壌環境チーム | 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証研究 |
| 仙台 | りんご園における天敵利用を柱としたIPMの実証 | 園芸環境部 虫害チーム | りんごにおける天敵利用を目的とした下草管理技術の開発 |
| 美里 | 春たまねぎの乾腐病とりん片腐敗病の防除対策支援 | 野菜部 露地野菜チーム | タマネギ安定生産技術 |
| 栗原 | 発病リスクに基づくキャベツ根こぶ病防除体系の検討 | 園芸環境部 病害チーム | AIを活用した土壌病害診断技術の開発 |
| 登米 | 加工用ばれいしょの品種の検討 | 野菜部 露地野菜チーム | 加工用バレイショ安定生産技術 |
| 登米 | りんご樹体ジョイントの省力技術及び登米管内における生育特性の把握 | 花き・果樹部 果樹チーム | りんご樹体ジョイントの省力技術 |
| 石巻 | 県育成品種「にこにこベリー」の特性に合わせた栽培管理の検討 | 野菜部 イチゴチーム | 宮城県オリジナルイチゴ新品種「にこにこベリー」の育成 |
| 気仙沼 | 肥効調節型肥料の活用及びトンネル初夏どり作型導入によるねぎの収量確保 | 園芸環境部 土壌環境チーム | 津波被災復旧農地における土づくり促進及び施肥技術の確立による露地野菜生産安定化 |
| 気仙沼 | ブドウ「シャインマスカット」の高品質果実生産のための植物生長調整剤の利用方法 | 花き・果樹部 果樹チーム | ブドウ「シャインマスカット」の高品質果実生産のための植物成長調整剤の利用方法 |

ロ 令和元年度

| 連携普及センター | 普及指導員 調査研究課題名 | 担当部 | 関連する研究課題名 等 |
|----------|-----------------------------------|---------------|---|
| 大河原 | 小ぎく半身萎凋病における健康診断に基づく土壌病害管理 | 園芸環境部 病害チーム | AIを活用した土壌病害診断技術の開発 |
| 仙台 | キュウリにおける低コスト薬剤散布法の実証 | 園芸環境部 病害チーム | 果菜類における総合的作物管理を目指した総合的病害管理技術の開発 |
| 仙台 | 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証 | 園芸環境部 土壌環境チーム | 大規模露地野菜の効率的栽培技術の実証研究 |
| 美里 | 空調服を活用した高温期のハウス内における作業者の効果的暑熱軽減対策 | 野菜部 生産工学チーム | 細霧冷房システム及び空調服を活用した暑熱対策技術 |
| 栗原 | 発病リスクに基づくキャベツ根こぶ病防除体系の検討 | 園芸環境部 病害チーム | AIを活用した土壌病害診断技術の開発 |
| 登米 | 宮城県オリジナルイチゴ新品種「にこにこベリー」の生育特性の把握 | 野菜部 イチゴチーム | 宮城県オリジナルイチゴ新品種品種「にこにこベリー」の育成 |
| 石巻 | 県育成品種「にこにこベリー」現地適応性の検討 | 野菜部 イチゴチーム | 宮城県オリジナルイチゴ新品種品種「にこにこベリー」の育成 |
| 石巻 | 大規模露地野菜の効率的栽培技術の実証研究 | 園芸環境部 土壌環境チーム | 大規模露地野菜の効率的栽培技術の実証研究 |
| 気仙沼 | 8月出しきく類における露地電照栽培技術の確立 | 花き・果樹部 花きチーム | 夏秋期における小ぎくの露地電照栽培体系の確立 |
| 気仙沼 | 肥効調節型肥料の活用及び作型に適した品種選定によるねぎの収量確保 | 園芸環境部 土壌環境チーム | 津波被災復旧農地における土づくり促進及び施肥技術の確立による露地野菜生産安定化 |

ハ 平成30年度

| 連携普及センター | 普及指導員 調査研究課題名 | 担当部 | 関連する研究課題名 等 |
|----------|------------------------------|------------------------|---------------------------------|
| 仙台 | ブルーベリーの露地養液栽培の実証 | 園芸栽培部 果樹チーム | イチジク・ブルーベリーの産地化に資する新技術の開発 |
| 大崎 | 大崎市岩出山での夏秋期における小ぎくの露地電照効果の検討 | 園芸栽培部 花きチーム | 夏秋期における小ぎくの露地電照栽培体系の確立 |
| 大崎 | キャベツ根こぶ病の効果検証 | 園芸環境部 病害チーム | AIを活用した土壌病害診断技術の開発 |
| 美里 | 梨のジョイント栽培における施設育苗技術の実証 | 園芸環境部 果樹チーム | 宮城から提案する新規園芸品目の栽培技術の開発 |
| 美里 | 転炉石灰を利用したほうれんそうの萎ちよう病被害軽減対策 | 園芸環境部 病害チーム | 果菜類における総合的作物管理を目指した総合的病害管理技術の開発 |
| 栗原 | 被覆資材利用によるズッキーニ早期出荷技術の検討 | バイオテクノロジー開発部 資源開発利用チーム | ズッキーニ安定生産技術 |
| 登米 | キャベツの斉一化技術の実証 | バイオテクノロジー開発部 資源開発利用チーム | 先端プロ（土地利用型営農技術の実証研究（露地園芸）） |
| 登米 | カンパニュラ栽培における育苗方法の検討 | 園芸栽培部 花きチーム | 先端プロ（周年安定生産を可能とする花き栽培技術の実証研究） |
| 気仙沼 | 8月出し小ぎくにおける露地電照栽培技術の確立 | 園芸栽培部 花きチーム | 夏秋期における小ぎくの露地電照栽培体系の確立 |

| | | | |
|-----|----------------------------------|---------------|---|
| 気仙沼 | 春ねぎの年内生育量確保及び秋冬ねぎの肥効調節方 肥料の検討 | 園芸環境部 土壌環境チーム | 津波被災復旧農地における土づくり促進及び施肥技術の 確立による露地野菜生産安定化 |
|-----|----------------------------------|---------------|---|

(3) 普及指導員研修

農業革新支援センターとの連携により、農業革新支援専門員兼務（野菜、花き、果樹担当）の農業・園芸総合研究所研究員が企画する専門項目高度化研修及び専門項目別集合研修を開催した。

専門項目高度化研修：普及指導員が、県内で栽培されている主要作物等の最新技術等の取得を図るもの。

専門項目別集合研修：普及指導員の各専門分野において、世代の垣根を越えた全体研修を行い、各分野の推進法口頭について共通意識の醸成を図るもの

イ 令和2年度

| 研修名 専門項目 | 専門項目高度化研修 | | 専門項目別集合研修 | |
|-------------|--------------|---------|-----------|---------|
| | 開催月日 | 対象普及指導員 | 開催月日 | 対象普及指導員 |
| 野菜 | 令和3年2月19日 | 3名 | 令和2年8月31日 | 9名 |
| 花き | (野菜・花きの合同開催) | 6名 | 令和2年7月21日 | 7名 |
| 果樹 | 令和3年2月19日 | 3名 | 令和3年2月19日 | 10名 |

ロ 令和元年度

| 研修名 専門項目 | 専門項目高度化研修 | | 専門項目別集合研修 | |
|-------------|-----------|---------|------------|---------|
| | 開催月日 | 対象普及指導員 | 開催月日 | 対象普及指導員 |
| 野菜 | 令和2年1月27日 | 9名 | 令和元年5月15日 | 15名 |
| 花き | 令和2年2月18日 | 6名 | 令和元年8月19日 | 8名 |
| 果樹 | 令和元年11月5日 | 4名 | 令和元年12月16日 | 10名 |

ハ 平成30年度

| 研修名 専門項目 | 専門項目高度化研修 | | 専門項目別集合研修 | |
|-------------|------------|---------|------------|---------|
| | 開催月日 | 対象普及指導員 | 開催月日 | 対象普及指導員 |
| 野菜 | 平成31年3月13日 | 9 | 平成31年2月25日 | 12名 |
| 花き | 平成31年2月25日 | 4名 | 令和元年8月2日 | 9名 |
| 果樹 | 平成31年3月15日 | 3名 | 平成30年4月19日 | 10名 |

(4) 関係機関への講師派遣状況

| 年度 | 研修回数 | 主 な 研 修 名 |
|--------|------|---|
| 令和2年度 | 52回 | <p>JA みやぎ仙南たまねぎ栽培講習会, JA 新みやぎ松山園芸生産協議会芽キャベツ栽培講習会, 令和2年度第1回にこにこベリー栽培講習会, みやぎ登米農協米山イチゴ部会「親株管理指導会」, たまねぎほ場巡回現地指導会, 第2回シャインマスカット栽培研修会, 蔵王地区梨部会現地検討会, 令和2年度普及指導員調査研究検討会, 令和2年度環境制御指導者育成研修(初級コース), 南三陸町液肥利用推進協議会, 令和2年度夏季管理講習会, 令和2年度営農指導員栽培・飼養技術基礎研修会, いちご育苗ほ場巡回指導会, 令和2年度相互視察検討会, 令和2年度加工・業務用野菜(水田を活用したばれいしょ栽培)現地研修会, 育苗箱を用いた簡易養液栽培講習会, JA みやぎ登米米山イチゴ部会「育苗管理指導会」, にこにこベリー育苗指導会, 令和2年度環境制御指導者育成研修(初級コース), いちご栽培講習会, 亘理地域シャインマスカット栽培技術研修会, 川崎町ネギ栽培講習会, JA 新みやぎ松山園芸生産協議会芽キャベツ栽培講習会, JA 新みやぎ松山園芸生産協議会芽キャベツ現地講習会, 加工用キャベツ巡回指導会, JA みやぎ登米米山イチゴ部会「現地検討会・農薬講習会」, 令和2年度環境制御指導者育成研修(初級コース), 県育成品種「にこにこベリー」栽培勉強会, リンゴの主要病害と近年の防除体系の現状, キウイフルーツ研修会, セリ部会現地検討会, いちご栽培農家ほ場巡回指導会, やもといちご生産組合現地検討会, 令和2年度ミニトマト周年栽培病害虫防除研修会, 加工・業務用ばれいしょ導入に向けた説明会, 令和2年度ミニトマト周年栽培病害虫防除研修会, JA 新みやぎ松山園芸生産協議会芽キャベツ現地講習会及び出荷目揃え会, アスパラガス栽培管理勉強会(病害対策編), 加工用馬鈴薯実績検討会, 涌谷営農センターせり部会現地検討会, 令和2年度みやぎの野菜セミナー, JA 新みやぎ北浦梨部会剪定講習会並びに女性を対象とした剪定講習会, 令和2年度宮城県りんご栽培研修会, プンタレッタ出荷目揃え会, 令和2年度みやぎの花きセミナー, 令和2年度亘理名取りりんごせん定講習会, 令和3年産たまねぎ栽培講習会(育苗巡回), JA みやぎ登米りんご生産部会剪定講習会, 令和3年産たまねぎ栽培講習会(育苗巡回), たまねぎ栽培講習会(育苗巡回), 令和2年度カーネーション実証事業検討会, 令和2年度カーネーション産地表示販売実証検討会</p> |
| 令和元年度 | 48回 | <p>新たな野菜栽培講習会, 法人等における園芸作物定着研修会, 石巻地域にこにこベリー栽培勉強会, JA みやぎ仙南春たまねぎ防除現地研修会, 使用農薬検討及び野菜生産者技術研修会, JA みやぎ登米米山イチゴ部会イチゴ親株管理指導会, JA みどりの北浦梨部会現地検討会(病害虫管理等), JA みやぎ亘理イチゴ育苗講習会, 宮城県にこにこベリー栽培講習会, 宮城県ぽてと生産者協議会現地検討会(生育状況と今後の栽培管理他), 果樹共済損害評価技術研修会, JA みやぎ登米花卉部会カンパニユラ栽培講習会, JA みやぎ亘理平成31年産いちご出荷反省会, 令和元年度栗原市果樹相互視察検討会, イノベーション創出研究推進事業セミナー, 元年産リンゴの生育と新技術について, JA みやぎ登米米山イチゴ部会現地検討会並びに育苗管理指導会, たまねぎ栽培講習会, 梨秋季防除研修会, リンゴの主要病害と近年の防除体系の現状, 蔵王地区梨部会剪定講習会, JA 新みやぎ北浦梨部会剪定講習会, 宮城県りんご栽培研修会, 令和元年度亘理名取りりんごせん定講習会, 令和元年度福島県北地方園芸振興セミナー, JA みやぎ登米りんご生産部会せん定講習会, 栗原市りんごせん定講習会りんご防除歴説明会, 第4回にこにこベリー栽培研修会, 令和元年度亘理町果樹振興会研修会, 令和元年度県北地方園芸振興セミナー, 蔵王地区梨部会防除歴講習会並びに栽培研修会, 秋・春まき玉ねぎ栽培講習会, にこにこベリー栽培技術向上研修会, ぶどう栽培研修会 等</p> |
| 平成30年度 | 45回 | <p>宮城県園芸振興大会, 県北地域小ギク機械定植実演会, JA みやぎ亘理にこにこベリー親株現地検討会, 道の駅村田研修会, JA みや</p> |

| | |
|--|---|
| | ぎ亘理いちご部会講習会, JA いしのまき果樹栽培講習会, 気仙沼地域花き生産研修会, カルビージャガイモ現地検討会, せんだい農業園芸センター講義①, JA みやぎ仙南野菜栽培講習会, 大河原地域花き生産講習会, JA みどりの加工・業務用野菜現地研修会, トマトネットワーク勉強会, 平成30年度宮城県梨現地検討会, JA みやぎ亘理にこここベリー講習会, 栗原地域防除担当者会議, 宮城県ぼてと生産者協議会現地検討会, 栗原イチゴ部会現地研修会, 栗原市果樹相互視察検討会, 亘理名取りりんご栽培研修会, JA みやぎ登米キュウリ部会環境制御検討会, JA みやぎ登米米山イチゴ部会現地検討会, 登米寒締めホウレンソウ部会, JA みやぎ仙南西洋野菜研究会講習会, JA みやぎ登米キャベツ現地検討会, JA 栗っこカボチャ現地検討会, JA みやぎ亘理にこここベリー講習会, NOSAI 宮城果樹部会会議, JA みやぎ仙南水稻育苗箱養液栽培勉強会, 大崎地域施設園芸総合セミナー, いちご生産者間ネットワーク勉強会, JA みやぎ登米米山イチゴ部会現地検討会, 蔵王地区梨部会秋季防除研修会, 平成30年度園芸協会果樹専門部会, 栗原イチゴ部会現地検討会, JA みやぎ亘理いちご部会講習会, 石巻環境制御勉強会, 平成30年度宮城県なし栽培研修会, JA 古川なす部会病害虫技術研修会, JA いしのまきブドウせん定講習会, 平成30年度みやぎの野菜セミナー, JA みやぎ仙南プンタレッラ目揃い会, 平成30年度宮城県りんご栽培研修会, JA みやぎ登米りんご剪定講習会, 仙南地域トップセミナー |
|--|---|

(5) 一般公開

農業試験研究や農業について県民に広く理解してもらうため、施設を公開し、試験研究で開発した新しい技術や研究内容についての情報を発信するため、小中学生を対象とした「みやぎの農業試験研究一般公開 農園研体験デー」を農園研で開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、非開催とした。

| 年度 | 開催月日 | 出席者数 |
|--------|--------|------|
| 令和2年度 | 非開催 | — |
| 令和元年度 | 10月 5日 | 214名 |
| 平成30年度 | 10月 6日 | 207名 |

(6) 見学者への対応

(単位:名)

| 年度 | 合計 | 見学者の内訳 | | | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 農業者 | 農業指導者 | 高校・大学 | 小・中学校 | 県関係 | その他 | 県内 | 県外 | 国外 |
| 令和2年度 | 282 | 138 | 0 | 123 | 0 | 13 | 8 | 269 | 13 | 0 |
| 令和元年度 | 933 | 430 | 55 | 281 | 0 | 21 | 146 | 529 | 400 | 4 |
| 平成30年度 | 1,249 | 790 | 114 | 215 | 0 | 31 | 99 | 694 | 545 | 10 |

2 種苗事業の概要と生産等の実績

優良種苗を使用して生産改善及び品質の向上等を図ることは重要な技術である。このため、周到的な管理のもとに親株等の栽培を実施し、円滑に優良種苗を供給している。県内の園芸品目として重要なイチゴは、ウィルスフリー化した苗を作成し、県内イチゴ生産を支えている。

(1) イチゴ基核苗(株)配付実績

| 実施年度 | とちおとめ | もういっこ | にこにこベリー |
|--------|-------|-------|---------|
| 令和2年度 | 11株 | 9株 | 3株 |
| 令和元年度 | 11株 | 6株 | 3株 |
| 平成30年度 | 11株 | 6株 | 400株 |

注) 基核苗：イチゴ品種の育成地から導入した株を母株として、農業・園芸総合研究所内の隔離した温室で増殖した無病苗が基核苗である。基核苗は、本県のイチゴ増殖供給体制上の独自の呼称である。基核苗の配付を受けた(公社)みやぎ農業振興公社は、基核苗を親株として順次増殖を行い、原原種、原種を生産し、イチゴ生産者には原種から増殖した親株を毎年約30万本供給している。イチゴ生産者は、親株苗から定植苗を増殖し、ハウスに定植して栽培する。

(2) セリ親株配付実績

| 実施年度 | Re14-4 |
|--------|--------|
| 令和2年度 | 678株 |
| 令和元年度 | 0株 |
| 平成30年度 | 0株 |

注) 平成30年度、令和元年度はセリ親株配付実績なし。

(3) 果樹穂木配付実績

| 実施年度 | サワールージュ穂木 |
|--------|-----------|
| 令和2年度 | 5本 |
| 令和元年度 | 85本 |
| 平成30年度 | 98本 |

Ⅸ 研究マネジメント

1 農業関係試験研究機関の連絡調整会議実施状況

(1) 宮城県農業関係試験研究推進会議等の開催

農業・園芸総合研究所，古川農業試験場，畜産試験場の相互連携を図るため，「農業関係試験研究機関推進会議」（以下「推進会議」という。）を開催している。また，推進会議の下に「幹事会」を設置している。事務局は，農業・園芸総合研究所企画調整部とする。

【会議開催回数】

| 区分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 備考 |
|------|-------|-------|--------|-----------|
| 幹事会 | 5 | 3 | 5 | 各場所企画担当部長 |
| 推進会議 | 4 | 3 | 3 | 場所長及び副場所長 |

【令和2年度】

| 月日 | 会議名 | 摘要 |
|----------|---------------|--|
| 5月15日(金) | 幹事会 (書面開催) | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について 第9次農業試験研究推進構想の策定について 農業関係試験研究内部評価委員会及び農業関係試験研究機関評価部会について 令和3年度農業関係試験研究要望課題について 農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会について 令和2年度農業関係試験研究計画のスケジュールについて 研究成果情報のホームページ等を通じた発信について 分野横断型プロジェクト研究の促進について 研究員の計画的人材育成について |
| 6月9日(火) | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> 第9次農業試験研究推進構想の策定について 農業関係試験研究内部評価委員会及び農業関係試験研究機関評価部会について 令和3年度農業関係試験研究要望課題について 分野横断型プロジェクト研究の促進について 研究員の計画的人材育成について 令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について 農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会について 令和2年度農業関係試験研究計画のスケジュールについて 研究成果情報のホームページ等を通じた発信について |

| | | |
|----------|------------------|---|
| 7月22日(水) | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第9次農業試験研究推進構想の方向性等について ・令和3年度新規研究課題について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・令和2年度試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について ・令和4年度農業試験研究要望課題について ・令和2年度農業関係試験研究計画について |
| 8月7日(金) | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・第9次農業試験研究推進構想の方向性等について ・令和3年度新規研究課題について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・令和2年度試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について ・令和4年度農業試験研究要望課題について ・令和2年度及び令和3年度農業関係試験研究計画について |
| 9月30日(水) | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・第9次農業試験研究推進構想中間案(素案)について ・令和3年度新規研究課題について ・令和3年度農業関係試験研究計画(素案)について ・令和2年度第2回農業関係試験研究内部評価委員会について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・令和2年度試験研究推進スケジュール及び成果広報計画について ・特許権及び品種登録に係る令和3年度の予定について |
| 10月9日(金) | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・第9次農業試験研究推進構想中間案(素案)について ・令和3年度新規研究課題について ・令和2年度第2回農業関係試験研究内部評価委員会について ・令和3年度農業関係試験研究計画(素案)について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・令和2年度試験研究推進スケジュール及び成果広報計画について ・特許権及び品種登録に係る令和3年度の予定について |
| 2月19日(金) | 幹事会 (オンライン開催) | <ul style="list-style-type: none"> ・第9次農業試験研究推進構想中間案(素案)について ・普及に移す技術第96号候補課題(案)について |
| 3月11日(木) | 幹事会 (オンライン開催) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度試験研究推進スケジュール及び普及広報計画について ・普及に移す技術第96号候補課題(案)について ・第9次農業試験研究推進構想(案)について ・令和3年度農業関係試験研究計画(案)について ・令和3年度依頼研究員等研修候補(案)について ・分野横断型プロジェクトの促進について |

| | | |
|----------|------|--|
| 3月18日(木) | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について ・普及に移す技術第96号候補課題(案)について ・第9次宮城県農業試験研究推進構想(案)について ・令和3年度農業関係試験研究計画(案)について ・令和3年度依頼研究員等研修候補(案)について ・分野横断型プロジェクトの促進について |
|----------|------|--|

【令和元年度】

| 月 日 | 会議名 | 摘 要 |
|----------|------|---|
| 4月26日(金) | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度農業関係試験研究推進スケジュール及び普及広報計画について ・農業関係試験研究内部評価委員会設置要綱の一部改正について ・農業関係試験研究内部評価委員会及び農業関係試験研究機関評価部会について ・平成32年度農業試験研究要望課題について ・農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会について ・平成31年度試験研究計画(修正案)に係るスケジュールについて ・第9次農業試験研究推進構想に係るスケジュールについて ・研究成果情報のホームページ等を通じた発信について ・分野横断型プロジェクト研究の促進及び研究員の計画的人材育成について ・要綱等の一部改正について ・研究活動の不正行為への対応指針等について |
| 5月30日(木) | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度農業関係試験研究推進スケジュール及び普及広報計画について ・農業関係試験研究内部評価委員会設置要綱の一部改正について ・農業関係試験研究内部評価委員会及び農業関係試験研究機関評価部会について ・令和2年度農業試験研究要望課題について ・農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会について ・令和元年度試験研究計画(修正案)に係るスケジュールについて ・第9次農業試験研究推進構想に係るスケジュールについて ・研究成果情報のホームページ等を通じた発信について ・分野横断型プロジェクト研究の促進及び研究員の計画的人材育成について ・研究活動の不正行為への対応指針等について ・要綱等の一部改正について |
| 8月29日(木) | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度試験研究推進スケジュール及び普及広報計画について ・令和2年度新規研究課題(県単)について ・令和3年度農業試験研究要望課題について ・令和元年度農業関係試験研究計画(最終案)について ・令和2年度農業関係試験研究計画(素案)について |

| | | |
|----------|------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・第9次農業試験研究推進構想の策定スケジュールについて ・宮城県農業関係試験研究職員人材育成方針（素案）について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・試験研究業務に関する検討会について |
| 10月7日（月） | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度試験研究推進スケジュール及び普及広報計画について ・令和2年度農業試験研究要望課題の対応について ・令和3年度農業試験研究要望課題について ・令和元年度農業関係試験研究計画（最終案）について ・令和2年度農業関係試験研究計画（素案）について ・第9次農業試験研究推進構想の策定スケジュールについて ・宮城県農業関係試験研究職員人材育成方針（素案）について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について |
| 2月21日（金） | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度試験研究推進スケジュール及び普及広報計画について ・「普及に移す技術」第95号候補課題（案）について ・令和2年度農業関係試験研究計画（案）について ・第8次農業試験研究推進構想の検証（案）について ・第9次農業試験研究推進構想の改定スケジュール（案）について ・農業関係試験研究職員人材育成方針（案）について ・令和2年度依頼研究員候補（案）について ・農業関係試験研究機関の組織再編に関する検証（案）について |
| 3月12日（木） | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度試験研究推進スケジュール及び普及広報計画（案）について ・「普及に移す技術」第95号候補課題（案）について ・令和2年度農業関係試験研究計画（案）について ・第8次農業試験研究推進構想の検証（案）について ・第9次農業試験研究推進構想の改定スケジュール（案）について ・農業関係試験研究職員人材育成方針（案）について ・令和2年度依頼研究員候補（案）について ・農業関係試験研究機関の組織再編に関する検証について |

【平成30年度】

| 月 日 | 会議名 | 摘 要 |
|----------|-----|---|
| 4月27日（金） | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度農業関係試験研究推進スケジュール及び普及広報計画について ・農業関係試験研究内部評価委員会設置要綱の一部改正について ・農業関係試験研究内部評価委員会及び農業関係試験研究機関評価部会について ・平成31年度農業試験研究要望課題について |

| | | |
|----------|------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会について ・平成30年度試験研究計画（修正案）に係るスケジュールについて ・普及に移す技術等原稿作成要領の改正について |
| 5月15日（火） | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度農業関係試験研究推進スケジュール及び普及広報計画について ・農業関係試験研究内部評価委員会及び農業関係試験研究機関評価部会について ・平成31年度農業試験研究要望課題について ・農業関係試験研究機関の改革に係る推進について ・農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会について ・平成30年度試験研究計画（修正案）について ・普及に移す技術等原稿作成要領の改正について ・研究成果情報のホームページ等を通じた発信について |
| 9月6日（木） | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度農業関係試験研究推進スケジュール及び普及広報計画（案）について ・平成31年度新規研究課題について ・平成30年度農業関係試験研究計画（修正案）について ・普及に移す技術作成要領等の改正について ・平成31年度農業関係試験研究計画（素案）について ・企画調整業務の見直し等について |
| 9月10日（月） | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度農業関係試験研究推進スケジュール及び普及広報計画（案）について ・平成31年度新規研究課題について ・平成30年度農業関係試験研究計画（修正案）について ・普及に移す技術作成要領等の改正について ・平成31年度農業関係試験研究計画（素案）について ・企画調整業務の見直し等について |
| 9月21日（金） | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・企画調整業務の見直しについて |
| 12月5日（水） | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・企画調整業務の見直し等について |
| 2月14日（木） | 幹事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度試験研究推進スケジュール（案）について ・平成30年度普及広報計画（案）について ・「普及に移す技術」第94号候補課題（案）について ・平成31年度農業関係試験研究計画（案）について ・平成31年度依頼研究員候補（案）について ・農業関係試験研究内部評価委員会の運用の見直し（案）について ・企画調整業務の見直し（案）等について |
| 3月13日（水） | 推進会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度試験研究推進スケジュール（案）について |

- ・平成30年度普及広報計画（案）について
- ・「普及に移す技術」第94号候補課題（案）について
- ・平成31年度農業関係試験研究計画（案）について
- ・平成31年度依頼研究員候補（案）について
- ・農業関係試験研究内部評価委員会の運用の見直し（案）について
- ・企画調整業務の見直し（案）等について

（2）宮城県農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会

農業関係試験研究3機関に係る新品種及び特許等の知的財産権の取得，実施，運用並びにその他知的財産権の維持管理等に関し，必要な事項を審議する。

令和2年度 5月8日，6月26日，9月10日，2月3日
令和元年度 7月26日，9月19日，12月26日，2月7日
平成30年度 4月16日，4月24日，6月27日，11月1日，1月31日

2 所内各種委員会

(1) 2機関連絡協議会図書委員会

試験研究及び教育推進のための図書資料収集及び整理を行うため、農業大学校との2機関連絡協議会の下に図書委員会を設置している。

令和2年度 5月15日、2月22日

令和元年度 5月8日、3月2日

平成30年度 4月26日、10月23日、12月26日

(2) 農業・園芸総合研究所組換えDNA実験安全委員会

実験計画（新規及び変更）の適合性、実験者の健康管理等、組換えDNA実験の安全性確保を図るために開催している。

令和2年度 4月21日

令和元年度 4月23日

平成30年度 4月24日

(3) 農業・園芸総合研究所内研究推進会議

農業・園芸総合研究所における試験研究を効率的に推進するため、所長、副所長（事務及び技術）、企画調整部長及び各研究部長からなる会議を開催している。

【所内推進会議開催回数】

| | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|----|-------|-------|--------|
| 回数 | 22 | 18 | 28 |

(4) 農業・園芸総合研究所内連絡調整会議

原則として、毎週火曜日の午前9時30分から所長、副所長（事務、技術）、企画調整部長、各研究部長（4名）及び事務局（総務部、企画調整部）による所運営及び行事調整等の打合せ会議を開催している。

(5) 農場管理委員会

所内の圃場及び付帯施設の管理等について月1回調整を行っている。

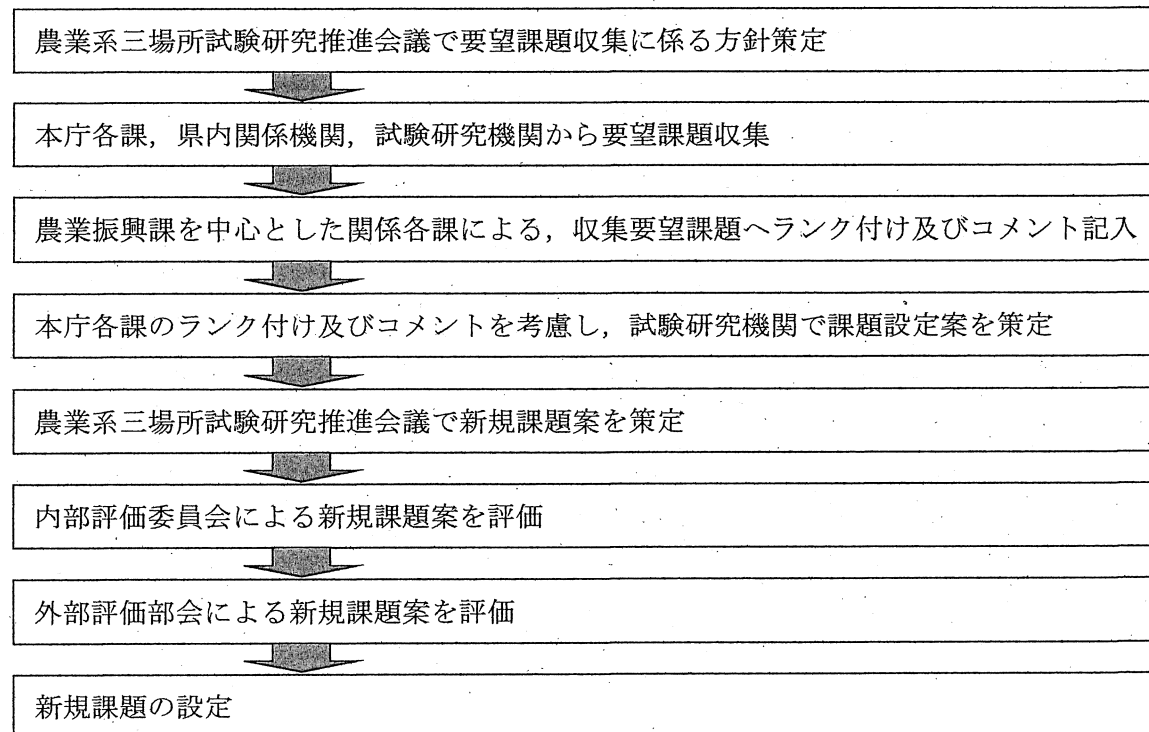
3 試験研究要望課題

(1) 農業関係試験研究要望課題の収集

試験研究機関が実施する試験研究課題等の設定に当たり、農業関係機関等が有する要望課題、県内各地域に健在、潜在する試験研究ニーズの収集や掘り起こし、具体的な課題化への検討及び調整を図る。

これにより、農業関係試験研究機関において、令和3年度は7課題、令和2年度は5課題、令和元年度は12課題を新規に課題化している。

イ 要望課題から新規課題（案）の設定の流れ



【分野別要望課題の取りまとめ状況】

| 部 門 | 令和2年度 (令和3年度分) | 令和元年度 (令和2年度分) | 平成30年度 (令和元年度分) |
|---------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 水 稻・野 菜 | 3 | | |
| 水 稻 | 4 | 2 | 7 |
| 畑 作 物 | 2 | | |
| 野 菜 | 6 | 3 | 6 |
| 花 き | | | 6 |
| 果 樹 | 4 | | 3 |
| 土 壌 肥 料 | 3 | 1 | 1 |
| 病 害 虫 | 4 | | 8 |
| 畜 産 | 1 | 1 | 1 |
| 飼料作物 | | | |
| 情報経営 | | 3 | 6 |
| 農業土木 | 3 | | |
| 作業機械 | 1 | | |
| 農業気象 | 3 | | |
| 3場所合計 | 34 | 10 | 38 |

【令和3年度農業関係試験研究新規課題（令和2年度の要望より課題化）】

| No | 区 分 | 課 題 名 | 研究年度 | 担当機関 |
|----|-----|---------------------------------|------|------------------|
| 1 | 県 単 | 高軒高ハウスを活用した果菜類の長期多段取り夏越し栽培技術の開発 | R3～5 | 農業・園芸総合研究所 野菜部 |
| 2 | 県 単 | 持続可能な農業生産と高い生産性を両立する環境制御技術の開発 | R3～5 | 農業・園芸総合研究所 野菜部 |
| 3 | 県 単 | 水田におけるアグリテックの活用による新たな栽培体系の確立 | R3～5 | 古川農業試験場 水田営農部 |
| 4 | 環境税 | 地球温暖化に対応した作物病害虫管理技術の構築 | R3～7 | 古川農業試験場 作物環境部 |
| 5 | 環境税 | 温暖化に対応した高温に強いイネづくり開発普及推進事業 | R3～7 | 古川農業試験場 作物育種部 |
| 6 | 事 業 | 持続可能な大規模露地園芸営農システムの確立 | R3～5 | 農業・園芸総合研究所 情報経営部 |
| 7 | 事 業 | 水田における高収益作物を導入するための排水改良技術の検討 | R3～5 | 古川農業試験場 水田営農部 |

【令和2年度農業関係試験研究新規課題（令和元年度の要望より課題化）】

| No | 区分 | 課題名 | 研究年度 | 担当機関 |
|----|----|--------------------------------|------|------------------|
| 1 | 県単 | 農業法人の経営発展に向けた実行性あるマーケティング手法の検討 | R2～4 | 農業・園芸総合研究所 情報経営部 |
| 2 | 事業 | ほ場整備地区における高収益作物導入経営モデルの実証 | R2～3 | 農業・園芸総合研究所 情報経営部 |
| 3 | 県単 | 除草効果を安定させるほ場管理技術の開発とICTの活用 | R2～6 | 古川農業試験場 作物栽培部 |
| 4 | 県単 | 新たな施肥法による水稻穂揃期葉色の改善 | R2～4 | 古川農業試験場 作物環境部 |
| 5 | 県単 | 本県産系統豚の能力向上技術の確立 | R2～6 | 畜産試験場 種豚家きん部 |

【平成31年度農業関係試験研究新規課題】

| No | 区分 | 課題名 | 研究年度 | 担当機関 |
|----|----------|-------------------------------------|------|----------------------------------|
| 1 | 県単 | 農業の「働き方改革」に向けた女性や若者等が働きやすい就労環境のモデル化 | R元～3 | 農業・園芸総合研究所 情報経営部 |
| 2 | 県単 | イチゴオリジナル品種「にこにこベリー」の高収益生産体系の確立 | R元～3 | 農業・園芸総合研究所 野菜部 |
| 3 | 県単 | 中山間地域等の多彩な園芸生産を支える省力・軽労化技術の確立 | R元～3 | 農業・園芸総合研究所 野菜部 |
| 4 | 県単 | みやぎ独自の園芸生産技術の開発 | R元～5 | 農業・園芸総合研究所 野菜部, 情報経営部, 花き・果樹部 |
| 5 | 県単 | みやぎオリジナル品種育成 | R元～5 | 農業・園芸総合研究所 野菜部, 花き・果樹部, 園芸環境部 |
| 6 | 県単 | 寒冷地に適した環境制御による花きの高品質・安定生産技術の開発 | R元～5 | 農業・園芸総合研究所 花き・果樹部 |
| 7 | 県単 | 昆虫の寄主選択機構に着目した総合的害虫管理技術の開発 | R元～5 | 農業・園芸総合研究所 園芸環境部 |
| 8 | 県単 | 宮城県に適した超多収水稻品種開発に向けた中間母本の育成 | R元～5 | 古川農業試験場 作物育種部 |
| 9 | 県単 | 水稻省力・低コスト化総合的栽培技術の確立 | R元～3 | 古川農業試験場 作物栽培部 |
| 10 | 事業 | 水稻新品種栽培法の早期確立 | R元 | 古川農業試験場 作物栽培部 |
| 11 | 県単 | 土地利用型農業経営における病害虫リスク管理と防除技術の確立 | R元～5 | 古川農業試験場 作物環境部 |
| 12 | 県単 受託 | 除染後牧草地の維持管理技術の確立 | R元～5 | 畜産試験場 草地飼料部 |

(2) 農業関係試験研究計画

毎年度の試験研究等の実施に先立ち、各試験研究機関と調整の上、各該当推進構想との基本方向等を踏まえた試験研究年度計画を「農業関係試験研究計画」としてまとめ、農政部長に協議する。

(3) 農業関係試験研究成績概要集

各年度に実施した試験研究成績を「成績概要書」としてまとめる。

(4) 農業・園芸総合研究所報告

複数年の研究成果の中から総合的な取りまとめを行い、学会誌形式の「農業・園芸総合研究所報告」を作成している。平成24年度以降は、所内編集委員会及び研究推進会議の決定に基づき、完了課題を中心に執筆している。

4 業務評価

研究課題の立案，選定，研究終了後の成果の波及に至るプロセス及び県立試験研究機関の運営全般について総合的見地から機関の果たすべき役割を検証し，より成果重視の効率的な研究推進，必要な運営体制の整備等に関する方針の決定に向けて必要な助言等を得られるよう，試験研究機関の業務評価を行っている。

内部評価では，県庁関係各課職員を構成員とした「農業関係試験研究内部評価委員会」が，外部評価では「宮城県試験研究機関評価委員会農業関係試験研究機関評価部会」がそれぞれ設置され，適宜開催している。

農業関係試験研究機関業務評価の開催状況

【令和2年度】

| 年月日 | 区分 | 摘 要 | 評価結果 |
|-----------|----------------|--|--|
| 6月17日（水） | 内部評価委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について（審議） 令和元年度終了課題の機関内部評価結果について（重点的試験研究課題以外）（報告） 令和2年度新規課題の概要について（重点的試験研究課題以外）（報告） 令和2年度農業関係試験研究計画について（報告） | 事後評価：優れた研究－2課題， 妥当な研究－2課題 中間評価：計画どおり－4課題 |
| 7月16日（木） | 農業関係試験研究機関評価部会 | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について（審議） 令和2年度農業関係試験研究計画について（報告） 普及に移す技術（第95号）について（報告） 第9次農業試験研究推進構想の策定について（報告） | 事後評価：優れた研究－4課題 中間評価：計画どおり－4課題 |
| 8月28日（金） | 農業関係試験研究機関評価部会 | <ul style="list-style-type: none"> 古川農業試験場の機関評価について（協議） | 優れている。 |
| 11月18日（水） | 内部評価委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度新規課題の事前評価について（審議） 令和元年度終了課題（重点以外）の機関内部評価結果について 令和3年度新規課題（重点以外）（案）の概要について（報告） 第9次農業試験研究推進構想中間案及び令和3年度農業関係試験研究計画（素案）について（報告） | 事前評価：採択した方がよい－3課題 |

| | | | |
|----------|----------------|---|-------------------|
| 12月8日(火) | 農業関係試験研究機関評価部会 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度新規課題の事前評価について(審議) 第9次農業試験研究推進構想中間案について(審議) 令和2年度終了課題(重点以外)の機関内部評価結果について(報告) 令和3年度農業関係試験研究計画(素案)について(報告) 令和3年度新規課題(重点以外)の概要について(報告) | 事前評価:採択した方がよい-3課題 |
|----------|----------------|---|-------------------|

【令和元年度】

| 年月日 | 区分 | 摘要 | 評価結果 |
|-----------|----------------|---|---|
| 6月18日(火) | 内部評価委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について(審議) 平成30年度終了課題の機関内部評価結果について(報告) 令和元年度農業関係試験研究計画について(報告) 令和元年度新規課題の概要について(報告) | 事後評価:優れた研究-5課題, 妥当な研究-2課題 中間評価:計画通り-1課題 |
| 7月16日(火) | 農業関係試験研究機関評価部会 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について(審議) 令和元年度農業関係試験研究計画について(報告) 普及に移す技術(第94号)について(報告) | 事後評価:優れた研究-6課題, 妥当な研究-1課題 中間評価:計画通り-1課題 |
| 9月27日(金) | 農業関係試験研究機関評価部会 | <ul style="list-style-type: none"> 畜産試験場の機関評価について(協議) | 優れている |
| 11月18日(月) | 内部評価委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度終了課題の事後評価及び令和2年度新規課題の事前評価について(審議) 平成30年度終了課題(重点以外)の機関内部評価結果について(報告) 令和2年度農業関係試験研究計画(素案)について(報告) 令和2年度新規課題(重点以外)の概要について(報告) | 事後評価:優れた研究-1課題, 妥当な研究-2課題 中間評価:採択した方がよい-4課題 |
| 12月10日(火) | 農業関係試験研 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度終了課題の事後評価及び令和2年新規課 | 事後評価:優れた研究-2課題, |

| | | | |
|--|---------|--|--------------------------------|
| | 究機関評価部会 | 題の事前評価について（審議） ・令和2年度農業関係試験研究計画（素案）について（報告） | 妥当な研究－1課題 事前評価：採択した方がよい－4課題 |
|--|---------|--|--------------------------------|

【平成30年度】

| 年月日 | 区分 | 摘 要 | 評価結果 |
|-----------|----------------|---|---|
| 6月12日（火） | 内部評価委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価並びに平成30年度新規課題の事前評価について（協議） 平成30年度農業関係試験研究計画について（報告） | 事後評価：優れた研究－1課題， 妥当な研究－1課題 中間評価：計画どおり－1課題 事前評価：採択した方がよい－1課題 |
| 7月6日（金） | 農業関係試験研究機関評価部会 | <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価並びに平成30年度新規課題の事前評価について（協議） 平成30年度農業関係試験研究計画について（報告） 普及に移す技術（第93号）について（報告） | 事後評価：優れた研究－2課題 中間評価：計画どおり－1課題 事前評価：採択した方がよい－1課題 |
| 9月27日（木） | 農業関係試験研究機関評価部会 | <ul style="list-style-type: none"> 農業・園芸総合研究所の機関評価について（協議） | 優れている |
| 10月24日（水） | 内部評価委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度農業関係試験研究に対する要望課題への対応について（説明） 平成31年度新規取組予定研究課題の事前評価について（協議） 平成30年度新規取組研究課題（受託，事業研究課題等）について（報告） 平成31年度農業関係試験研究計画の概要（案）について（報告） | 事前評価：採択した方がよい－10課題， 修正したうえ採択してもよい－1課題 |
| 12月3日（月） | 農業関係試験研究機関評価部会 | <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度新規取組予定研究課題の一部諮問について（協議） 平成31年度新規取組予定研究課題の事前評価について（協議） 平成30年度新規取組研究課題について（報告） 平成31年度農業関係試験研究計画（案）について（報告） | 事前評価：採択した方がよい－7課題 |